新京日日新聞
夕刊
十二月二十三日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三一一〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

皇太子殿下愈よ御健かに第四回の御誕辰
三陛下殊の外御滿悦に拜す

【東京國通】皇太子繼宮明仁親王殿下には二十三日目出度く第四回の御誕辰を迎へさせられた 此御慶びの東宮様には午前十時赤坂東宮假御所御出門宮城に御參内、天皇、皇后兩陛下から御祝辭を賜り、又三陛下には御所に鮮鯛を賜らせられて御祝ひ遊ばすと承るが、畏くも非常時局を思召されて御内祝宴は御取止めあらせられると承る 謹んで拜承するに殿下にはいよいよ御健かにわたらせられ、毎朝のラヂオ體操も缺かせ給ふことなく、極めて御元氣でこの程侍醫寮にて御計り申上げた御身長三尺一寸四分強、御體重四貫百卅八匁強にて御發育殊に勝れさせ給ふ また御智能においても繪本、蓄音機などにより繪畫、童話、童謠、軍歌などに御興味深く、積木の工夫、手工等も御器用に遊ばされるなどその天稟の御聰明のひらめきを拜し奉仕者一同感激申上げてゐる

廣東軍潰滅に備へ 廣東市燒却準備
戰々兢々たる市民

【香港廿二日發國通】廣東市民の不安は支那側の抗戰準備旺んとなるに從つて愈よ甚だしく、種々のデマを生んで民衆は戰々兢々たる有樣で、廣東軍當局は更に廣東最後の秋に至れば家屋や食糧品を燒却すべきを命ずべく、各戸に石油を用意せしめ全市を一擧に灰燼に歸せしめんとする作戰と傳へられ、その暴虐非道のやり口には怨嗟の聲が各所に放たれてゐる

民衆動員に主力
蔣廣東首腦部と協議

【香港廿三日發國通】確實なる方面よりの消息によると、蔣介石は廿一日宋美齢夫人を同伴し廣東に[illegible]り來たり廣東防衛に關し余漢謀、吳鐵城等廣東首腦部と重要會議を開催したといはれる この會議においては民衆動員に主力が置かれ、學生、青年團の武裝及び民衆をして財力に應じて各階級に分ちそれぞれの武器購入量を決定、軍の仲介により外人商者より小銃彈藥を購入すべきを強制し、一方食糧品の貯藏量を各戸に割當てもつて持久抗戰の準備を急ぐに決したといはれる

四十萬の新兵募集

【東京國通】廿日夜確實なる筋への情報によれば、國民政府は十九日漢口に首腦部會議を開催、蔣介石、汪兆銘、孫科、張群、邵力子等の諸要人參集蔣首協議を進めた結果、長期抵抗の最後方針を決定したと傳へられる、すなはち長期抵抗のために破滅に瀕した現支那軍の再編を企圖し、四十萬の新兵を募集し、さらにこれを百萬に擴大するの方針を決定、これ等四十萬の新兵はソ聯教官の指導のもとに訓練し、最新式科學部隊五千を同兵力の中核とせんとするものであるといはれる、なほ駐支ソ聯大使館員は名目は外交官であるが、その實館員全部赤軍の將校より成るもので今後ソ聯大使館員の暗躍は頗る警戒を要するものと看做されてゐる、一方漢口會議により邊防司令官に任命された楊虎城の指揮する軍隊は、共產軍により編成され、同軍隊は山西、甘肅、寧夏、青海の五省に駐屯することゝなつたと傳へられてゐる

兩將軍參内

武勳赫々たる國軍の外征を大きく擔つて二十二日晴の國都入りをなした張第三軍管區司令官並に石少將は廿三日午前十一時宮内府に參内皇帝陛下に拜謁仰せつけられ軍狀を奏上別室にて茶菓を賜り同十一時半退下した【寫眞は軍狀奏上を終へて宮内府を退下する兩將軍、前方張中將續いて石少將】

英國の地中海の情勢は極東增艦行へず
英佛協議說は虛報

【パリ廿三日發國通】英國の極東增艦問題と關聯して地中海の防衛について英、佛兩國間に重大協議が行はれたとの報道が頻繁として傳へられる折柄、歐洲外交評論界の權威エコー・ド・パリ紙外報部長ペルチナツク氏は右英、佛協議說を否定して廿一日左の如き見解を表明した
英國政府が地中海の海軍力の一部を割いて極東水面に艦隊を增派することゝなつた場合、フランスが英國に代り單獨で地中海における フランスならびに英國の權益保護の責に任ずるやう英國政府からフランス政府に申入れがあつたといふのは事實でない、フイツブス英國大使が廿日デルボス外相を訪問した時にもその問題にはふれなかつた、假にフランス艦隊が地中海において單獨で行動するやうな事になれば佛、伊兩國間の衝突は急激に增えて連日不祥事件を繰返へすやうな事態に立ち至るだらうし、スペインの内亂が意の如く進展しないのでくさつてゐるムツソリーニ首相は絶好のチヤンスとばかり本來の面目を取返へし積極的干渉に乘出すだらう

對極東態度を決定
英政府閣議で

【ロンドン廿二日發國通】日支問題に對する英國の態度を決定すべき英國政府閣議は廿二日開催前後四時間半に亘り極東問題の全般につき愼重檢討を遂げた結果
一、英國艦隊の一部を即時極東に派遣することは一時見合す
一、チエンバレン首相は今後極東の事態に應じ緊急必要の措置を講ずる
ことに意見一致したと謂はれる

ソ聯極東の海空軍を強化
=U・P通信の報道=

【ロンドン廿二日發國通】ソ聯は支那事變と極東情勢の惡化に備へて頻りに極東軍の強化を行ひ、新に極東空軍および海軍の大規模なる增強を斷行しつゝありとの噂が傳へられるが、U・P通信社の報道によれば
ソ聯黑海艦隊に屬する戰鬪艦一隻、巡洋艦一隻、驅逐艦一隻及び潛水艦廿隻は最近ひそかにウラジオに向ひまたモスクワおよびキエフ空軍の一部もシベリヤを通つて極東國境地帶に配備せられたといはれる

北氷洋にソ聯新要塞

【敦賀國通】ソ聯では北氷洋唯一の不凍港ムルマンスクに規模廣大な要塞を構築すべく目下數千の勞働者が晝夜兼行で作業中の旨敦賀へ情報があつた、同國では右要塞の完成を俟つてバルチツク艦隊の根據地を現在のクロンスタツトからムルマンスクに移轉するのではないかと見られ、レニングラードからムルマンスクに至る間には四十一ヶ所の軍用飛行場が完備され、極東の事態重大の際新要塞の構築は頗る注目されてゐる

商船副社長後任

【大阪國通】大阪商船では二十二日重役會を開き副社長太田丙子郎氏辭任に伴ひ後任銓衡の結果專務岡田永太郎氏が經理部長兼任のまゝ昇格することに決定した

結城書記官紐育領事に榮轉

結城司郎次大使館書記官は昭和十年の春着任以來經濟關係事項を擔當して關東軍、滿洲國當局と緊密な連絡をとり治外法權撤廢をはじめ滿洲國五ヶ年計畫にはその明晳な頭腦と敏腕をふるつて活躍し多大の功績を殘したが、この程ニユーヨーク領事に榮轉することゝなり、廿四日午前十時新京發はとで赴任の途につく筈

青島日本紡績徹底的に破壞
A・P電報報道

【ニユーヨーク廿二日發國通】廿二日青島發A・P電報は青島における支那軍の暴行振りならびに青島の防備狀況につき左の如く報道してゐる
支那軍の日本紡績工場破壞は止まるところを知らず、支那軍は遂に工場寄宿舍にまで火を放ち徹底的にこれを破壞して了つた、市中では到るところ掠奪が頻繁と行はれ、支那側官憲はこれ等の犯人を逮捕するや處刑し、その死骸をみせしめのため市中に晒し物にしてゐる、一方青島の防備は益々固められてゐる

各地戰況（廿三日朝）

▲中南支方面 南京を攻略したわが軍は錢塘江口の要衝杭州を攻略すべく二十二日來軍を進め、湖州(吳興)方面より南下急追中であるが先鋒部隊はすでに莫干山を攻略し、空軍も亦敵の前哨陣地に重爆撃を敢行し、滬杭甬鐵道も爆撃の目標となり、杭州城はわが軍團のうちに陷つた
一方海軍航空部隊は廿二日午後南昌を襲撃敵戰鬪機廿三を爆破擊墜して悠々歸還した
▲津浦、京漢線方面 南京陷落後の皇軍第二段の作戰は揚子江上流の確保と北支戰事の絶滅であるが、殘された敵據點は濟南城であり、青島方面の支那軍であるが、當面の敵も鎧袖一觸、皇軍進擊の前にはすでにその擊碎の運命は明瞭である
凜烈たる北支の寒風をついて廣漠たる黃河流域に作戰する皇軍航空部隊の活躍は特に目覺ましいものがあり中南支作戰軍の津浦線滁縣確保と相俟ち同線上の大部隊の支那敗殘兵は南北よりの大壓力を受けて潰滅に瀕し濟南城の如きは風前の灯である

人事往來

着京

▲升巴倉吉氏（會社員）二十二日來京ヤマトホテル
▲吉岡保氏（同）同
▲染谷保藏氏（盛京時報社長）同
▲矢野勘治氏（會社員）同
▲澤井喜久太郎氏（三菱商事）同國都ホテル
▲小澤清次氏（會社員）同
▲廣谷誠次郎氏（大同殖產）同
▲久保田末吉氏（會社員）同向陽ホテル
▲相須善吉氏（木材商）同中央ホテル
▲清水利雄氏（森永製菓）同蓬萊ホテル
▲吉村武市氏（官吏）同
▲吉良修氏（松村組）同
▲中正人氏（商業）同
▲久原研吾氏（國際運輸）同新京ホテル
▲二渚英夫氏（營口稅關）同國際ホテル
▲岡田三九生氏（山海關稅關）同
▲野口正也氏（同）同
▲宮崎芳雄氏（同）同
▲岡田菊次郎氏（滿鐵社員）同

出發

▲後藤善九郎氏 廿二日奉天へ
▲高橋定一氏 同
▲森元吉造氏 敦化へ
▲野村靜氏 奉天へ
▲大原美哉雄氏 同
▲三輪醇一郎氏 大連へ
▲岡林威雄氏 敦化へ
▲井上義政氏 大連へ
▲守屋逸男氏 本溪湖へ
▲久保小市氏 錦縣へ
▲白土眞美氏 大連へ
▲原田謙二氏 奉天へ
▲永吉由藏氏 牡丹江へ
▲濱野周五郎氏 奉天へ
▲伴平太郎氏 東京へ
▲生方四郎氏 奉天へ
▲長濱謙次郎氏 同
▲高木德次氏 撫順へ
▲松井淺市氏 東京へ
▲青山勝藏氏 吉林へ
▲城野正氏 齊々哈爾へ
▲宮崎直記氏 安東へ
▲藤原秀則氏 開原へ
▲河野英作氏 吉林へ
▲福田三雄氏 大連へ

その日く

□
大期作戰の火蓋は切られた日章旗が西湖に映ゆる日が近づく
□
漢口あたりでは敗將を銃殺抗日支那の末期的症狀が露呈される
□
イーデン軍備を言ひ米國との友好を言へど、舊態依然たる極東政策であらう
□
蒙古の黎明を告げて德王が來る、建設の滿洲をよく視てお土產にどうぞ
□
廣東では市街燒却を準備すとか、共產暴動以來慣れてはゐるらうが

青春の宿
須藤鐘一作
柴谷宰二郎畫
（七九）
父と子（四）

岡見が——垂水でうり別莊を見つけて、かひさる交渉をし、その日のうちに登記まですませて——藏屋の邸に歸つて來たのは、夕方の七時すぎだつた。
岡見は、今宵も、また、前夜の痴夢のつゞきを見たいものだと、望んだのだが、雪枝も、一夜を留守にした店が氣がゝりだといふし、彼自身も、二夜つゞけての外泊することも、家人の手前、はゞかられて——翌夜を約束し、期待して歸つて來たのである。
部屋にはいると、女中頭をよんで、
『留守中、何も變つたことはなかつたか』
『はい……別に……』
『奧さんの病狀は、どうぢや……』
『たいへんおよろしいやうで——先生もこの分では、二三日で、御本復になるだらうと申してをられました』
『子供たちは……？また遊びにいつたのか……』
『は、お孃さまは、お夕飯まへにお出かけになりましたが……あの、若さまは、おひるまへからお頭が痛い……と仰しやつておやすみでございます』
『醫者にみせたか』
『はい……先生は、脈博が多いやうだが御心配になることはありますまい、と仰しやいましたが……おひるも、お夕飯も、少しもおめし上りになりませんので……』
『少しもか』
『はい……何をもつてまゐりましてもいらん、と仰しやいますので……』
『さうか……あとでいつてみよう』
いひ忘れたが、岡見の邸にはめし使ひが六人もゐたのだが、お抱運轉手の廣川を除いてあとは、全部が女中だつた
執事や、秘書や、書生をおいてもよい地位にあつたが自分が峰島家の秘書として、惡事を働いて來た男だけあって——男の使用人を、家庭内にいれることは危險だ。
との警戒心から、家事は、すべての書類は、自分と妻以外女中頭のおさよにまかせ、すべての書類は、自分と妻以外あけることの出來ない金庫に納めてあつたのである——
やがて、岡見は、階下の日本間におりて、病妻を見まつてから再び二階に上り、金之助の寢室のドアをあけた。
『金之助——頭が痛いといふぢやないか』
『あ、お父さん——』
ぼんやり、天井を見つめてゐた金之助は、奇聲をあげたと思ふとベットの上にはねおきて手放しでなき出した。
『僕、もういきてゐるのがいやです』
『なにをいふんぢや』
岡見は、作と並んでベットに腰をかけて、
『馬鹿な事をいふもんぢやない——いきてゐるのがいやだつて……なぜ、そんなことをいひだすんぢや、なにか……幸子さまた喧嘩でもしたんか』
『そんなこつちやないです……光明を失つたんです』
岡見は、あきれて、
『妙なことをいふね……光明を失つたとは、どういふことぢや……泣いてばかりゐたんではわからん。わけを話してごらん、わけを——』
『輝子さんが、結婚してくれないつていつたんです』

早くも昂まる入學難
向學心に窄き門
全滿中等學校の志願者と收容者數
新京男子中等學校は最難關

憂欝な新春

悩みの新入學、小學校兒童の中等學校入學志願者數の調査は先日行はれた新京初等教育會の發表に依り新京の兒童達の約半數はドロップの憂目を見ることとなり學級增加を要望する聲が高まつてゐたが、其の後これに對して中等學校側では全滿にわたつて調査を行つてゐたが十一月末現在に依る左記結果が今回在滿學校組合聯合會より發表された

▲女學校の部	志願者數	收容者數
新京敷島・錦ケ丘	四七三	四〇〇
奉天浪速・朝日	五九八	四五〇
撫順	一八七	一五〇
鞍山	一八二	一五〇
安東	一五六	一五〇
▲中學校の部		
新京	三六九	二五〇
奉天一中・二中	五九五	四五〇
安東	一四一	一〇〇
撫順	一七五	一五〇
鞍山	一五九	一五〇
▲商業學校の部		
新京	二五二	一五〇
奉天	一五六	一〇〇
遼陽	一一六	一〇〇

即ち女學校は新京においては最初一學級增加を發表してゐたが、其の後敷島、錦ケ丘双方共一學級增加、結局收容數三百名が四百名となつて非常に緩和されて惠まれたのはお孃さんを持つ親達と女子受持の先生ではほつと一息ついた狀態だ、しかるに反對に男子側は依然として新京中學、商業共に全滿最低の入學率を示してゐるのは甚だ注意すべきことである、即ち中學校は志望三百六十九名に對し一學級增加となり收容者二百五十名となつたが收容率は漸く六十七パーセントとなり商業學校は志望者二百五十名に對し學級增加無く收容者百五十名で五十九パーセントを示してゐて、奉天中學の七十五パーセント、奉天商業の六十四パーセントと比較してみると何れも新京の方が入學難であつてこれには男子受持の先生方は女子にくらべて不公平千萬なことだと言ひながら指導に懸命に當つて今や男子兒童はお正月休みも遊んでは居れないこととなつてゐる

皇后陛下の御仁慈

皇后陛下に於かせられては歳末に際し御救恤の思召をもつて左の日本赤十字社滿洲委員本部管下の病院および救療所收容患者に對し太物と裏地に裁縫料を添へて御下賜あらせられた、奉天十一名、大連九名、哈爾賓六名、錦州一名

樂しい冬休み迎へ
學校からの注意
中等學校は廿五日、小學校は廿八日から

十二月の聲を聞いたと思ふ間もなくもうお正月は目の前だ各學校とも第二學期を終了して冬休みに入ることになつた中等學校は二十四日終業式を行ひ廿五日よりお休み、小學校は二十六日成績通知簿冬休みの注意書等を全兒童に渡して二十六日終業式を行ひ二十八日より休みに移る、子供達の心はもう美しい色の蜜柑やふつくりとふくらんだお餅と面白い双六と樂しいお正月の夢を追つてゐるが、日本の國の今の有樣を考へて嚴寒の中戰地にある兵隊さんのことを思ふ時遊んでばかりは居られない、想出多い此の一年を送り新しい輝かしい新年を迎へるに際して學校側では次の樣な兒童の心得を家庭におくつて休暇教育に充分注意の上完全を期することを希望してゐる

▲よいお正月を迎へませう
▲毎日規律正しい生活をしませう
▲お餅の食過ぎなどしない樣衞生に注意致しませう
▲出來るだけ家のお手傳をしませう
▲研究は季節、事變に適應したものを選んでしませう
1、理科方面　雪、氷、煖房、毛織物、入絹、皮革、ゴム
2、算術方面　氣溫測定、お正月のかざりもの、防寒用具等の物價調べ
3、地理方面　滿洲主要都市及び新京産業狀態調査
4、手工方面　貯金箱、飛行機、自動車軍艦、戰車
5、支那事變に關する調査蒐集

年賀郵便事務は
比較的閑散
一般郵便事務は年內無休で

時局柄年賀郵便廢止運動がきいて新京中央郵政局の年賀郵便特別取扱は今までのところ例年の三分の一に減じてゐるが一般郵便窓口事務は今までに見ない輻輳を極めてゐるに鑑み局では二十五日の大正天皇祭、二十六日の日曜日兩日とも平常通り午前九時から午後四時まで事務を取扱ふことに決定したが更に年末二十八日から三十日まで三日間は普通時間より二時間延長して大いにサービスにつとめることになつた

滿洲國政府は廿八日御用納

滿洲國政府は二十八日をもつて御用納とし二十九日より一月三日迄休み四日より平常通り事務を開始することになつた

五禮會申込締切

新年五禮會申込みは協和會首都本部、市公署、祝町衞生隊綜合派出所に於て受付けを爲してゐたが二十三日午後四時をもつて締切つた

匪首孫玉を逮捕

山海關警察署はこのほど山海關南門外滿人風呂屋海平池において擧動不審の一滿人を逮捕嚴重取調べてゐたが十六日に至りこの男こそ曾て部下數千をひきつれ錦州、熱河兩省を股にかけ荒しまわつてゐた匪首孫玉なることが判明した孫は日滿軍の猛烈な追擊に身の置き所なく、今秋山海關に潛入、前記海平池に潛伏してゐるところを惡運盡き逮捕されたものである

寒月凍る昨夜半
首都警察の非常召集
有力共産匪襲擊想定の下
一絲亂れぬ猛演習

首都警察廳于總監は廿二日午後十時を期して本廳及管下六警察署に對し治廢後最初の非常召集を

實施 した、即ち「有力なる共産匪の一團が新京を襲擊せり」との想定のもとに警察部隊を編成匪團を擊滅して新京の治安を確立すべしとの命令は午後十時を期し一齊に下され寒月凍る夜空直ちに非常召集演習は開始され本廳並に各警察署は直ちに部隊を編成し曾根警務科長警察隊長として總指揮の任に當り各狀況により配置についたが、これより先本廳では後庭に於て總監副總監の點檢に次いで訓示あり、各署に於ては科長又は股長總監代理として訓示を與へ實質的行動に於ては立哨或は游動等實施年末警戒に當つて廿三日午前三時本演習を解除した、右につき關口副總監は大要左の如く語つた

目下 歳末特別警戒下にあり警官は連日連夜の手一杯の勤務にあり、また加へて嚴寒の候でもあり、また治外法權撤廢も日尙淺い時非常召集を行ふと言ふことはどうかと思つたが、考へて見ると非常時局で何時演習は實際とならぬものともかぎらぬものであり、また一つには今帝都は平穩であるとは言へ國內の他の方面例へば三江省、東邊道等に勤務するものは常に匪賊の蠢動に直面し非常時の危險にさらされてゐるものでこれ等を省みる時吾々は治に居て亂を忘れずの非常時の心構へを必要とするもので本演習を斷行した、各署を廻つて見たが全員が短時間で全部集合配置につきその成績は滿點であるとは言へないが大體に於て良好であつた、ことに豫告なく

不意 にやつたことからしてこの好成績を見たことは警察官に非常時意識が徹底されてゐるものであり力強く感じた、そして帝都の治安維持に對しても缺陷ないとの見透しをつけることが出來た、尙今後も非常時意識につき各個人々々につき一層徹底せしめる考へだ、尙本演習に當つて痛感したことは中央通署の成績が非常によかつたことだ、これは警察官の宿舍が集合的に完備してゐるため命令の傳達が敏活に且完全に行はれた點にある、從來滿洲國警察に於ては宿舍は散宿してゐるので命令の不徹底であつたことは爭はれない事實だ宿舍の統一については一考を要することでまた切實に感じた

定例署長會議

既報、首都警察廳管下警察署長會議は二十三日午前十時半より本廳講堂に於て本廳側股長以上及各署長警務主任出席開會、二十數件に亘る議案につき逐條審議午後三時閉會した、尙今後廿三日は署長の定例會議とされるものである
(寫眞は署長會議)

市立醫院看護婦募集

特別市立醫院では不足看護婦を充實しサービスの萬全を期すべく今回十名の看護婦を募集することゝなつた、資格は年齡二十五歳以下看護婦の免許證を有する者で希望者は履歷書持參市立醫院桑名事務長の許迄出頭せられ度いと

慰靈祭參列遺族に床飾り
三中井から贈呈

昭和八年四月以降の滿洲事變並に今次支那事變に一死盡忠東洋平和の礎となつた日滿巖の尊き英靈の大慰靈祭は來る二十六日新京忠靈塔前に於て盛大に擧行されるが三中井百貨店では此の大典に當り赫々たる武勳をたて護國の鬼と化した將兵に深甚なる敬意哀悼の意を表し併せて榮えある忠士の譽れを永久にたゝえるため祭典當日全滿並に關東州より參列した遺族全部に唐金表寶船の床飾りを贈ることゝなり廿一日贈呈の手續をとつた

成績愈よ芳しい
官吏消費組合
副理事長以下役員改選さる

堅實なる歩みを續けて益々基礎の鞏固を加へてゐる滿洲國官吏消費組合では治外法權の撤廢に因る組合員の激增に備へて新年度に對應すべく今回左の如き有力なる役員の決定を見た、尙同組合は現在の國都に於ける最大の小賣配給機關で十二月の如きは賣上げ廿五萬圓と云ふ數字を豫想せられてゐるが今年度の總決算による剩餘金も五萬圓は確實なる所と目られ僅々三年間に六萬圓の資金で斯る莫大なる剩餘金を擧げ得る程度の發展振りは世界消費組合の歷史にも全く珍らしい好成績と云はれてゐる

役員名

▲理事長古海忠之總務廳主計處長▲副理事長羅振邦經濟部商務司長(新任)▲常務理事山梨武夫專賣總署理事官、同生松淨法制處參事官、同高橋哲經濟部商務科長、同岩崎義雄衞生技術廠庶務科長、同金子嘉一馬政研究處總務科長(新任)同李田種彥宮內府會計科長(新任)、同富田直耕興安局庶務科長(新任)同岡野誠治外務局秘書官(新任)同憲均治安部警務科長(新任)同葉參總務廳官房事務官(新任)▲監事丁波同庶務科長(新任)▲幹事長岩田公六郎▲總務部長櫻井愛司▲配給部長松井喜平

羽衣町の火事

廿三日午前一時三十分頃羽衣町四丁目二四土木請負業丸山組支配人梶田芳明氏方から發火、

農業組合新役員

新京農業組合會長は從來滿鐵支社業務課長が兼任してゐたが行政權移讓に伴ひ會長の職を辭任したゝめ同組合では廿二日午後四時から滿鐵支社會議室で臨時總會を開き定款改正、業務規程變更を行ひ役員選擧の結果左の如く決定した
▲會長三宅濱治▲副會長灰田▲幹事月澤、久保田▲評議員中野、和田、岡田

祝町消防署馳けつけ消火につとめたが煉瓦建一棟全燒同二時三十分鎭火した、原因は煖房の不完全と見られてゐるが詳細調査中である、損害は家財道具その他約一萬圓

小原元教諭表彰

元滿鐵新京敷島高等女學校教諭小原楓氏は滿鐵入社以來十有五年恪勤精勵克くその職責を盡し優秀なる成績をおさめた廉により社員表彰規程に依り銀杯一組を授與し表彰されたなほ今回表彰されたものは銀杯授與者二十二名金一封授與(滿人)四名である

臨檢の刑事を突如射殺

二十日午後十時頃奉天北市場塔光榮里旅館四合店韓振南方警察署刑事警長王漢鄉氏(二十九)が部下一名とともに西の旅客を臨檢の際、擧動不審の二名し持つたモーゼル銃を發射王刑事の右腰部に盲貫銃創を負はせ一彈は同旅館主の息韓貴俊君(十九)の右大腿部に命中昏倒する隙を窺つて何れかに逃走した、急報に接した本廳では全員出動北市場署と協力して犯人嚴探中であるが犯人等は三人組强盜として南北市場を荒してゐた匪賊の一味らしく宿帳には山東生れ陳遭福(三十一)陳福升(三十二)と記載してゐた、なほ重傷せる王刑事は直ちに醫大に收容應急手當を加へたが內部出血甚だしく二十一日午前三時遂に死亡した

工藝座談會

新京工藝座談會では二十四日午後五時から大興ビル食堂で今月の座談會を開催、營繕處简井技佐より「生活と工藝」の題下に話を聽く(會費八十錢見當)

范行政處長來社

新京特別市公署行政處長范垂紳氏は二十三日挨拶に來社

寄附

關東局勤務吉岡昇氏は大連轉勤に際して子弟在學記念として八島小學校保護者會に金十圓を寄附した

あす(廿四日)

▲歳末同情週間第七日
▲石部隊歡迎講演會、午後二時、協和會館
▲工藝座談會、午後五時、大興ビル食堂
▲クリスマス前夜

今晩の主なる放送

七、二〇　講演(東京)「昭和十二年を回顧して」(四)—政治—蠟山政道
八、〇〇　歌謠曲「昭和十二年流行歌總ざらひ—第三回—九月から十二月まで—」
八、三五　講談(東京)「乘合舟」小金井蘆洲
九、〇五　和洋合奏(東京)東洋管絃樂團

昭和十二年を顧みて(三十三)
治廢準備時代の首都警察の一年
名實共に充實した首都警察

特別市公署に附屬行政權移讓に伴ふ大膨脹あれば首都警察廳には治外法權撤廢に伴ふ大飛躍があつた、如何にすれば在住日本人の不安を少くし最も合理的な警察司法、行政が行ひ得るか一般民衆と密接不可分なる

關係 を有する警察であつてみればその苦勞は又市公署等と異り更に一層深刻なるものがあつた先づ滿系警察官の徹底的訓練指導は勿論のこと司法に於ては鑑識、搜査二股の科學的犯人檢擧陣の强化或は衞生保安に於ては諸取締規則を日本に於ける規則に準據幾分の改正を加へて實施し、時務のこれに對する一般民衆の反響、動向調査、警務の合理的人員配置等に實に目まぐるしい一年間ではあつた、一例を擧ぐれば治廢實施一ヶ月前の如きは四時の退廳時が來ても誰一人歸るものがなく五時、六時迄居殘り仕事を續け、場合に依つては九時過ぎ迄も明々と電燈が灯されてゐることすらあつた于總監、關口副總監を始め文字通り總動員準備時代も終り、十二月一日を期して所謂「世紀の驚異」治廢は遂に實施せられた文字の上の或は形の上の治廢は何時でも出來る問題は內部の統制、融和と圓滿なる運行であることは勿論である、引繼がれた日系警察官が馴れない滿洲國の正服を着恥しがつてゐる裡に既に二箇餘は過ぎた今日關口副總監は記者團を前にし「これでホツとしたよ」と洩らしてゐたが無理もないことである、斯くの如く首都警察廳の今年の回顧記は

正直 なところ治廢準備史みたいになり相だから十一月五日日滿兩國間に於て行はれた治廢調印式後の主なる動きをピツクアツプして直ちに各科別業績を瞥見し樣、先づ十月長春縣下警察署を長春縣に移讓し首都警察廳は國都だけをがつちり固め樣と本來の立場に歸り、越へて十一月十八日午前十時より首都警察廳二階會議室に於て于總監、關口副總監その他日滿憲警關係者多數列席のもとに第一回司法會議を開催し治廢を前に全滿に模範たるべき司法、警察制度の完璧を期し、犯罪豫防思想の普及、司法警察官吏の教養訓練、犯罪手口カード作成、その他重要問題に關し徹底的協議を遂げた、これと前後し接收後に於ける警務の遂行上支障を來さゞる樣各科に治外法權撤廢準備小委員會を設け
一、日本警察機關接收後に於て警察各股の事務遂行上現行法令に據らしむる爲著しき支障を生ずる虞れあるもの處理案
二、日本警察機關接收後警察方面に於ける滿洲國諸制度と著しき相違あるものゝ處理案
三、日本警察機關(領事館警察署關係)接收のため主管事務關係の具體的引繼處理
四、其の他各科に於て必要と認むる事項
の要項で細部的折衝をなし、處理案は更に本廳治外法權撤廢準備委員會に於て日本現地機關と折衝の上專門的諸問題を片づけしから解決、日滿警察官の意志疏通にも多大な好果を收めた、更に證容整備としては、保安科に工場建築股を新設、司法科の治安股を防犯股に改組、警務科の教養股を督察股と改組、衞生科に醫務股を新設等四股を新設改組した、かくて治廢實施もぢりぢりと押し迫つた十一月三十日上間司法、胡保安、郭衞生の三科長の轉出を始め關東局より滿洲國入りした十一名の內九名は本廳入り三名は管下各警察署へと大異動を發表して治廢準備最後の人的整備をなしとげ、十二月一日を期して全員の正式發令を爲した、之と同時に新京署を中央通警察署と改め、領警署を廢し管下六警察署各署所屬派出所五十九ケ所、分駐所廿ケ所計七十九ケ所之に二消防署及び新京地方警察學校を加へ完璧の新陣容はなり首都警察廳の完全なる一元化はなつた

愛國聯盟第一回總務委員會

愛國運動首都聯盟第一回總務委員會は二十三日午後一時より協和會館に於て各方面參集の上開催せられたが其の成行は時局柄非常に注目せられてゐる

市立醫院の年末始休日

新京特別市立醫院では來る二十八日をもつて御用終ひとなり、左の如く休日をとることゝなつた
二十九日全休、三十日診察三十一日、元日は全休、二日診察、三日全休、四日より平常通り診察開始

御歳暮に……
三中井の商品券
滿鮮十五ケ所の本支店共通

店員募集

男子店員二名
但內地人にて市內に確實なる保證人を要す
希望の方は本人來談ありたし
東二條通り
峰靴店
電話3 六四七四番

貸家

交通至便にして暖房、浴場其他完備、御希望の方には賄の求に應ず
羽衣町二丁目
羽衣莊
電話(3)二七八一

自動車修理工及見習工募集

一、見習工は內地人に限る相當優遇す
右希望者は本人自筆履歷書持參の事
新京富士町三丁目
京タク自動車工場
電話3 六九七一

貸家

場所　淸和街一〇一
家賃　六十五圓
特別市淸和街一〇一
東亞興業株式會社
新京出張所
電話② 四九三五番

貸家

場所　室町小學校東側
間取　八疊六疊六疊二疊
家賃　五十五圓
設備　完備
御希望の方は左記へ御問合せ下さい
錦町四丁目七ノ二
島田群平

募集

サービスガール　數名　急募　優遇す　本人來談
西廣場
滿鐵社員俱樂部
喫茶

至急募集

大多忙に付
女中さん　數名
サービスガール　數名
御希望の方は當人來談
大都ホテル
電(三)六〇一六

躍進都市嫩江行

女給及女中さん急募
收入多大優遇す
希望の方は左記へ御來談下さい
新京東三條通五四
丸三洋行
電(3)三〇一六

ちり紙卸
新京三笠町三丁目
㊂山三商會
電話③五四

貸家

場所　新京特別市西朝陽路四一一(櫻木小學校南)
室數　三室(八、六、四半)地下室付
設備　煖房阪本式ペーチカ、水洗便所
家賃　七十圓
本年九月新築平家建南向日當り良し
御用の方は
電話(2)三六八四番へ

割烹 木蘭莊

御待ち兼ねのふぐ料理を始めました
材料は下關より直接取寄せて居ります
豐樂路七一ノ一
電②一六三六番

クリスマスカクテルを無料サービス致します

非常時局に鑑みクリスマス券の發行を中止致しまして皆樣の御愛顧に報ひる爲め期間中御來店の方全部へ
クリスマスカクテルを無料サービス致します
非常時體制下ハリキリ美給の熱誠振りを御鑑賞下さいませ
△粗品進呈▽
期間　自十二月二十四日　至十二月二十六日
國都カフエー界の明星
マスコット
新京三笠町三丁目
電話③二八六九番

映畫街半期回顧（下）

和田郁夫 (B)

▽八月邦畫總計二十九本
▼松竹現代「戀も忘れて」同「婚約三羽烏」同「泣くな女よ」同「衣裳花嫁」松竹時代「土屋主税」同「御守殿お町」同「お才時雨」以上八本
▼日活現代「街の旋風」同「國境の風雲」同「美人賞」同「南國の歌」同「寶島總動員」同「南の生命線台灣」同「悦ちゃんの涙」同「征空一萬五千粁」日活時代「黑船情話」同「薫風一騎」同「戀山彦前篇」同「牡丹燈籠」以上十二本
▼新興現代「女性の勝関」同「淨婚記」新興時代「南風薩摩歌」同「千兩小判」以上四本
▼東寶現代「白薔薇は咲けど」同「樂園の合唱」東寶時代「エノケンのちやつきり金太前篇」同「同後篇」以上四本
▽八月洋畫總計三十本
▼パラマウント「麗人遁走曲」同「醫者の日記」同「紐育の顔役」同「ローズボール」同「第二の女」以上五本▼メトロ「ベンハー」同「極樂浮草稼業」同「仇敵」同「夕陽特急」同「踊るアメリカ艦隊」同「腕白時代」六本▼コロムビア「地に潜るギャング」一本▼ワーナー「緑の燈」同「歩く死骸」同「踊る三十七年」同「科學者の道」四本▼ユナイト「無敵艦隊」同「巴里ッ子」二本▼RKO「森の勇者」同「空中散歩」同「一對二」同「乙女よ嘆くな」同「アリゾニア」五本▼フォックス「洋上魔」同「大空の征服」同「水兵萬歳」同「妾の弱點」同「裏切る唇」同「子供の世界」六本▼その他歐洲ものウファ「白日鬼」一本
▽九月邦畫總計二十九本
▼松竹現代「愛に生くる者」同「男の償ひ前篇」同「さらば戰線へ」同「男の償ひ後篇」松竹時代「鈴ケ森」同「土屋主税」同「傳平追討ち」同「幽靈花聟」以上八本
▼日活現代「そんなの嫌ひ」同「娘三十人」同「もしも月給があがつたら」同「背廣の王者」日活時代「戀山彦後篇」同「遊俠太平記」同「快盜山嶽隊」同「曠原の魂」以上八本
▼新興現代「淨婚記」同「人生の初旅」同「皇軍一度起たば」同「みだれ島田」同「乙女十九」新興時代「神變稻妻」同「忍術霧隱才藏」同「女賊と捕手」同「鬼傑白頭巾」以上十本
▼東寶現代「南風の丘」東寶時代「唄ふ彌次喜多」同「南國太平記」以上三本
▽九月洋畫總計三十三本
▼パラマウント「ワイキキの結婚」同「黎明の丘」同「マドリッド最終列車」以上三本▼メトロ「ロミオとジユリエット」同「永遠に微笑む」同「カイロの一夜」同「紐育の鋪道」同「ヘルビロウ」同「極地の青春」同「惡魔の人形」同「空翔ける戀」以上八本▼コロムビア「百獸の王者」同「風雲の支那」同「ギャング戰線」同「闇夜の颱風」以上四本▼ワーナー「彼女の男」同「特高警察」二本▼ユナイト「暗黒街の彈痕」同「市街戰」以上二本▼RKO「嵐ッ裁き」同「僞裝の女」以上二本▼フォックス「南歐横斷列車」同「殺人ホテル」同「曲馬團の殺人事件」同「戰爭と母性」同「テムプルの銀の神」同「永遠の戰場」以上六本▼ユニバーサル「ベエテェの散び」一本▼その他、歐洲ものの「命の氷河」「プレジャンのトム」「ハンガリア驃騎兵」「熱砂の果て」「我等の仲間」以上五本
▽十月邦畫總計三十三本
▼松竹現代「若葉の夢」同「マヽの縁談」同「湖上の靈魂」同「軍國子守唄」松竹時代「流轉前篇」同「治郎長唄ざんげ」同「流轉後篇」以上七本
▼日活現代「夢の鐵兜」同「美しき鷹」同「公園裏の兄妹」同「軍神乃木さん」同「制服を着た藝妓」日活時代「八丁濱太郎」同「變幻若衆醫前篇」同「同後篇」同「妖棋傳」同「水戸黄門」以上十本
▼新興現代「結婚への道」同「美しき鷹」同「煙る故郷」同「肉彈記者」同「強者の戀」同「陸の黒潮」新興時代「七度び狐」同「明暗峠」同「變化如來」同「岡野金右衞門」同「盜人罷」以上十一本
▼東寶現代「北支の空を衝く」同「僕は誰だ」同「禍福前篇」東寶時代「戰の曲」以上四本
▽十月洋畫總計二十四本
▼パラマウント「たくましき男」同「命を賭ける男」同「犯罪王」同「海の魂」同「爆破光線」以上五本▼メトロ「椿姫」同「ギャングの花嫁」同「G補物帖」同「眞珠と未亡人」同「極樂モダン騒動」同「座り込み結婚」以上六本▼ユナイト「頓馬パルーカ」「カライナグ」以上二本、PKO「特高警察隊」一本▼フォックス「鐘の音」同「山小屋の娘」同「白狼」三本▼その他、歐洲もの「旅順港」「ペロニカの花束」「ヒトラー青年」「巨人ゴーレム」「風雲のヨーロッパ」「春の驟雨」「流血の市街」以上七本

以上は邦洋畫とも劇映畫を主とし、ニュース、短篇、豫告其他は省き、邦畫中大都、マキノトーキー、全勝キネマ、極東、甲陽其他小プロの作品は加へなかつた、又洋畫中にはかなり古い作品があつて封切映畫中に加へるのもどうかと思はれたが當地未封切のまゝにあつたものは揚げておいた積りである。

さぼてん

松竹の手を放れ二十一日からミス東洋へ河岸を換へた東寶今井の八島ひで子、新興の柳瀬正子、小島はる子の三孃▲『正月が來たのにまだ歸らないの』と旅愁をそゝぐつてみると▲『どうせ滿洲まで來たんですもの挨拶だけでなしに働くからには女給として國都の人々と固い握手を殘して歸りたいワ』との話▲誰かこの麗人達の一人でも内地へ歸さず新京へ引きとめる力の男は居らぬものか……▲平本喫茶部の秀ちゃんにハッちゃんがお客さんの誰も居ない閑散な時間所在無さに、手すりにもたれて階下を往來するお客さんの群にぼんやりと視線を移したり、婦人用品賣場で買物をしてゐるお孃さんを羨しさうに眺めてゐたです▲誰かゞ良い風景だな、あんな所をカメラにとると素晴らしい傑作が出來るのだがなと言つてゐましたからこれからは注意しないと危いですぞ

滿洲金融界の一ヶ年（七）

國幣發行高激增と都市經濟の變化（A）

―數字が示す躍進の跡―

本年の滿洲金融界は以上大略見た樣に種々の根本的問題を未解決の儘來年に持越したが、併し個々の機關に付さ見るならば、躍進の跡は可成り顯著なるものがある。

先づ第一に通貨の發行狀況を見るに、本年は鮮銀券總退却と云ふ惠まれた環境にあり又中國、交通兩銀行の哈大洋票及舊東三省の十進銅元も六月を以て通用期間が滿了し國內通貨の統一事業は全く完了を見た年である。鮮銀券が滿洲國內に如何程流通して居たかは鮮銀券の撤退問題と共に金融界に話題を賑はして居たが、事實中銀の國內に現れた數字は驚くべき數字ではなかつた。乃ち本年一月以降六月迄に中銀により回收された鮮銀券は二千八百八十八萬餘圓に過ぎなかつた。下半期に入つてから若干回收されて居やうが、現在市場に殆んど姿を消して居るのを見ると總額に於て四千四五百萬圓を上らないのではあるまいか。

かくて鮮銀券の撤退と、國內產業の躍進と云ふ二要因によつて中銀の國幣發行高は非常な增大を來した。各月末の發行高を見ると左の如くである。

	本年 千圓	前年 千圓
一月末	二三九、〇三二	一九〇、八〇八
二月末	二二六、八五八	一九八、八四七
三月末	二三三、七五四	一九〇、〇八九
四月末	二〇七、六四六	一七六、〇五五
五月末	一八三、七一八	一五九、八四〇
六月末	一七〇、七三八	一五四、三四二
七月末	一八〇、六二二	一五三、三五五
八月末	一八一、四八二	一五五、五一五
九月末	一九五、〇八三	一六五、七九九
十月末	二二九、一八三	一八五、四三三
十一月末	二六八、五五九	二三五、八六八

右の如く毎月末發行高に於て前年同月末に比し二千四五百萬圓乃至四千余萬圓の增加を示して居る。本年の年末には三億五千萬圓を突破するものと豫想せられて居る。尚本年上半期に於ける通貨流通の特色に付き、田中總裁の言を借りれば「發行高が期初を最高として漸減して居るのと、最高最低發行の差が擴大したことで、前者は一般取引の新曆決濟が增加したのと新興產業の勃興による新現象で、後者は物資移動と資金回轉が一層圓滑に行はれた證左で共に國民經濟力の伸張に因る」のである。（未完）

十一月中 支那對外貿易

【上海廿二日發國通】支那の對外貿易は事變の推移に伴ひ地域的に變調を呈し、十一月中の貿易は上海および九龍の激增に反し、青島、天津等北支方面は激減し全體について見る時は前月より一割二分の增加（上海は二割五分）となつてゐる、しかしながら總額においてはなほ八九兩月より低位にありまだ貿易改善の域には達してゐない、海關發表による輸出入額は左の如し（單位千元）

	十一月分	累計
輸出	五〇、七八三、	二六九、〇二六
輸入	四四、九〇〇、	六八二、七七六

これを本年初めよりの累計について見れば事變前の七月末までの貿易額が昨年度に比し四割方の激增を示してゐため、八月以降の減退を相殺してなほ昨年同期より多く、十二月中の貿易を十一月と同額と假定するときは、本年中の全支貿易は昨年度輸入において四百萬元、輸出において一億二千八百萬元の增加となり差引一億一千二百萬元の輸入超過となる、十一月中の輸出入額を主要港別に示せば左の如し（單位千元）

港別	輸出	輸入
上海	一八、〇六四	一〇、四七三
九龍	六、五二六	一三、六九八
廣東	四、九〇四	五、七九二
天津	五、二六一	二、三八〇
汕頭	三、八三三	三、四九一
蒙自（雲南）	三、八四三	九二二
青島	八〇五	二、〇六〇

支那金融機關逼迫で 年末決濟不能

【大阪國通】大阪某所着報によれば、事變發生以來支那側銀行及び錢商等の金融機關は甚大なる打擊をうけたが、年末接近と共に一層悲慘な狀態を展開するに至つた、すなはち事變勃發以來預金の拂戾し要求は增加の一途をたどり、預金は全然なく手持銀は文字通り枯渴するに至つたが、他方貸付が一切回收出來ないためつひに年末決濟は不能の狀態となつた、このため銀行公會では來る廿八日會員大會を開催し善後措置を協議することゝなつた

滿洲國新關稅 朝鮮側滿足

【京城國通】明年一月一日から實施される滿洲國新稅率に關しては貿易業界方面においても大體好感をもつて迎へられてゐるが總督府側においても零細な農漁民に影響を及ぼす水產物および林檎大巾引下げをはじめ朝鮮側の要望が相當程度參酌されたものとして感謝してゐる

主要輸出入品 新舊稅率對照表（四）

第五類　有機性紡績纖維及同製品

五〇一（甲）繰綿　百瓩　七、一三　百瓩　七、一二　据置

五〇二（甲）黃麻及青麻
一、カッティング　百瓩　一、一〇　從價　三、三%　据置
二、その他　同　二、〇〇　百瓩　一、九六　同

五〇三 緬羊毛（山羊毛、駱駝毛及ラマ毛を含む）
甲、脂附のもの　百瓩　一九、三〇　百瓩　一九、九六　三分下
乙、洗滌、漂白又は染色したるのみのもの　同　三九、四〇　同　一九、九六　八割強上
丙、カード又はコームしたるもの　同　四四、三三　同　一九、九六　十一割上
丁、その他
一、反毛　同　一四、一〇　同　一九、九八　二割強下
二、その他　從價　10%　從價　七、八%　三割弱上

五〇五（乙）（人造絹絲）百瓩　三〇、〇〇　百瓩　一六六、三六　九割弱下

五〇八 綿織物（單撚又は雙撚のもの）
甲、生のもの
一、單絲の番手英式卅五番を超えざるもの　百瓩　一六、〇〇　百瓩　一六、五四　据置
二、單絲の番手英式卅五番を超えざるもの　同　一六、〇三　同　三三、六〇
三、單絲の番手英式四十五番を超えざるもの　同　三三、六〇　略据置
四、その他　同　三六、〇〇　同　三六、二二　同
乙、その他
一、單絲の番手英式廿五番を超えざるもの　同　三六、〇〇　從價　二〇%　一割強下
二、單絲の番手英式卅五番を超えざるもの　同　三六、三〇　同　二〇%　同
三、單絲の番手英式四十五番を超えざるもの　同　三二、一〇　同　二〇%　同
四、單絲の番手英式六十五番を超えざるもの　百瓩　三〇、六〇　從價　二〇%　一割強下
五、其他　同　三六、三〇　同　二〇%　同

五〇九 乙、二、イ紐造の生綿系　同　三三、七〇　同　二〇%　同

五一〇 手編毛糸
甲、毛製のもの　同　二〇、一〇　百瓩　二八、四九　七分下
乙、其他
一、絹入もの　從價　三三%　從價　三一、五〇　一割四分下
二、其他　百瓩　三四、四〇　同　三三、一%　五割上

五一三 手織糸及毛糸（他纖維を交へたるものを含む）
甲、毛製のもの
一、梳毛のもの　百瓩　二二、四〇　百瓩　二八、四九　六分上
二、其他　從價　三〇%　同　二八、四九　据置
乙、其他
一、梳毛のもの　百瓩　三四、六〇　從價　三三、一%　三割強上
二、其他　從價　一七、五%　同　三三、一%　同

五一四甲（ステープルファイバー糸）百瓩　三六、四〇　從價　三三、一%　三割強上

五一九（イ）
一（マニラロープ）從價　一五%　圓　一〇、五%　四割弱上

商況欄 三日前場

海外經濟電報

倫敦金塊　六磅一九志七、八片〇〇〇
紐育金塊　三五弗〇〇〇
倫敦銀塊　一八片一六分二
同先限　一八片二分一
紐育銀塊　四四仙四分三
孟買銀塊　四八留比六分一
スチール株　五九弗八分三
アナゴンダ株　三二弗四分一

▲市俄古小麥
十二月限　九四仙四分三

▲東京株式（寄付）
新東　一二七九・〇
日產　八七七・〇
鐘新　一七四・〇
滿鐵新　五六・〇
大新　一〇三・〇

▲大阪株式（寄付）
新東　一〇二・〇
東新　一一七七〇
鐘新　二九〇・〇
日產　八七・〇
大新　六九・〇

▲大連株式（寄付）
東新　一六四〇
日產　一七七・〇
五品　八八〇・

各地株式市況

上海爲替相場

▲日本向　一〇〇〇、
▲倫敦向　一志二片
▲紐育向　二九弗

爲替相場

阪神爲替
對米賣　二九弗
對米買
一志二片

金銀市況
●上海標金

▲滿洲中銀爲替
上海向　九八弗
天津向　九八弗
紐育向　二九弗
倫敦向　一志二片

▲外國爲替
英米爲替　四弗九九仙
米日爲替　二九弗
米支爲替　二九弗
英日爲替　一志二片
英支爲替　一志二片
印日爲替　七七留比

▲カルカッタ麻袋
ブローチ　一七三留比
オームラ　一五六留比
ベンゴール　一三三留比

▲印棉

▲紐育棉花
現物
一月限
三月限
五月限
七月限
十月限
十二月限

各地商品市況

▲大阪綿糸
▲大阪棉花
▲大阪人絹
▲大阪期米
▲横濱生糸

各地特產市況

▲新京
▲大連

金曜　乙酉　友引　收　婁宿　舊十一月廿二日　十二月廿四日

●一白の人　總決算に當り思ひしより收益の擧がる吉日　丁と庚と辛が吉
●二黑の人　短慮を愼しみ怒氣を滅め靜かに當日を送れ　甲と辛と艮が吉
●三碧の人　計畫意外に進展し樂しき春を迎ふ準備成る　乙と丙と壬が吉
●四綠の人　埋火も搔き起せば熱氣揚る氣を引き立てよ　甲と辛と壬が吉
●五黃の人　崖崩れに路を塞れたる如し急がず他に廻れ　西と亥と北が吉
●六白の人　悲しみの中にも喜びの含まる日氣落するな　甲と南と亥が吉
●七赤の人　氣を締めて實直に働けば思ひの外安心を得　南と西と亥が吉
●八白の人　諸事熱心なれば案ぜしより功績の擧がる日　亥と壬と寅が吉
●九紫の人　日頃の實直は人の好感に惠まれて發達す　乙と丙と壬が吉

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局専用③三二〇五 營業局専用③三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

杭州陥落早くも目睫
わが攻圍圏刻々縮小さる

【武康廿三日發國通】杭州攻圍軍は廿三日正午を期し轡を並べて一齊に進撃を開始した、東方より迫る○○部隊は滬杭甬鐵道の王家石橋を陷れ杭州東方廿五粁の線に進出、谷川、福井、津田各部隊は杭州街道を急進、上柏鎭の堅壘を突破、杭州北方三十粁に迫り、小堺、野添、藤山、片岡の各部隊は完全に餘杭縣城を占領、更に杭州北方三十五粁の線まで躍進した、かくて包圍圏は刻々に縮小されつゝあり、江南戰線掉尾の大殲滅戰は日ならずして展開さるべく杭州の陥落は目睫の間に迫つた

第三國民に立退を慫慂

【上海廿三日發國通】上海軍廿三日午後六時發表＝軍は杭州攻撃を開始するに當り同市附近在住の第三國民に對する被害の及ばんことを考慮し、一定地域外に立退を可とする旨本日現地ならびに東京における外交機關を通じ申出づるところありたり

各部隊急進撃の跡

【湖州廿三日發國通】東方より杭州に迫る○○部隊の一部は杭州より嘉興に通ずる大運河の要害崇德縣城を廿三日正午完全に占據した

【湖州廿三日發國通】杭州街道を南進する津田部隊は湖州南面の要害莫干山を廿二日正午占領し山頂に日章旗を飜した、莫干山は廬山と並び稱される避暑地である、本街道を疾驅する谷川部隊は橋梁を燒拂ひ戰車壕、地雷火によつて防禦する頑敵を驅逐しつゝ南進、廿二日夕刻既に武康へ僅か三キロの三橋埠に達し、また谷川部隊の一部は水路を利して進み同じく德清を占領杭州に向つて猛進中

【湖州廿三日發國通】廿二日深更武康に迫つた谷川部隊は北正面の橋梁を破壞し頑強に抵抗する敵の砲火を潛つて夜陰に乘じ敢然クリークを渡河猛攻、遂に廿三日午前五時京杭國道の要衝武康を完全に占領し、更に勇奮南方の敵を攻撃中である

【湖州廿三日發國通】南京攻圍軍と呼應し蕪湖攻略に偉功を奏した○○部隊は晴れの南京入城式の歡喜に浸る追もなく次の重要作戰杭州攻略に乘出した、廿一日廣德出發疾風枯葉を捲くが如き勢をもつて杭州へ向つて猛進撃を開始、野添部隊は幅一米に足らぬ山間の隘路を强行軍をもつて突破し廿一日夕刻孝豐前方に達し高地上の既設陣地に據る敵の頑強なる抵抗に遭遇したが鎧袖一觸これを撃破し廿二日未明孝豐を陥れ同日夕刻さらに双溪鎭を拔き息もつかせず餘杭に向つて猛進中である、小堺部隊は小池騎兵隊を先頭として廿一日夕刻安吉を占領峻嶮を踏破して廿二日午後六時には早くも九都市を突破、藤山、片岡の兩部隊も莫干山の秀嶺を左に見ながら杭州へ向け堂々進撃中である

【上海廿三日發國通】道なき峻嶮を强行突破した小堺、藤山各部隊は廿三日未明潘板橋附近の敵を蹴散らし正午頃早くも餘杭縣に肉薄敵大部隊と交戰中

杭州の敵十萬
(張發奎が指揮)

【上海廿三日發國通】支那側の消息によれば、杭州市内は廿二日朝來殷々たる砲聲が聞へ來り不氣味な緊張が市全體にみなぎつてゐる、市民の大半は錢塘江對岸に避難し浙江省政府は省主席黄紹雄の命により浙　鐵路沿線某所に移轉され、杭州の防備には張發奎を最高指揮官とする江西、湖南の聯合軍約十萬がこれに當つてゐる

上海軍發表

【上海軍司令部廿三日發表】＝（一）太湖南方地區に集結して作戰を準備中なりしわが軍は、廿二日朝來いよ／＼左の行動を開始し同日午後には石鎭附近莫干山及び安吉縣東西の線に進出し續いて南進中なり（二）さきに揚州を占領せる足立、永津の部隊はさらに北進し廿一日邵伯鎭（揚州東方約五里）を占領せり（三）滁縣附近より北方に敵を追擊せる小野陵足部隊は廿日張八嶺（滁縣北方約五里）を占領、同地にありし軍用列車を急襲し敵に多大の損害を與へ貨客車十輛を鹵獲せり（四）田代、添田、倉林、兩角各部隊の滁縣附近揚子江北岸地區攻擊における敵の遺棄死體約一千、鹵獲貨客車十一輛、自動車四輛、迫擊砲四門、精米小麥一千俵

重慶も
避難民で大混亂

【上海廿三日發國通】外人方面の報道によれば、漢口から南京政府の避難民殺到による新首都重慶は未だ曾つてない大混亂に陷り、重慶市當局では遂に新たなる避難民の入市を拒否するに決定したといはれる、市内の住宅は充滿して新たに入市した避難民の借りる家とてなく市内を步き廻り夜になると街頭の店舗に一夜の宿を借りてゐるが、既に全市は危險な時期に直面してゐると傳へられる、しかもなほ漢口からの避難民はいつ跡絕へるとも知らずして漢口から重慶に至るところの交通機關は既に二ヶ月先まで豫約濟となつてゐる

大林大尉等戰死

【上海廿三日發國通】二十二日南昌空襲において海軍航空隊大林大尉および星猪市郎二等兵曹は名譽の戰死を遂げ原田中尉は名譽の負傷をした

足掻く南京政府
戰時體制區を制定

【上海廿三日發國通】長期抵抗第一作戰會議は漢口において會議續行中のところ、同會議重要決定の一つとして漢口方面よりの消息によれば、總動員計畫に基き行政區劃を改善して戰時體制區を制定し、各區に司令、副司令を任命、軍政一切を總攬せしめるに内定した

▲第一區　山東省及び津浦沿線の江蘇省北部▲第二區　河南省▲第三區　山西省、陝西省▲第四區　江蘇省南部、安徽省、浙江省▲第五區　湖北省、江西省

戰區令は何れも未決定であるが、現在戰場となつてゐる第一區は李宗仁、第四區は張發奎が任命される筈で、作戰の根據地と目される第五區は蔣直系の第八十八師長張治中が殆ど確定的と見られる

戰時產業管理
條例を公布

【上海廿三日發國通】支那側情報によれば、南京政府は長期抵抗の已むを得ざるの機に立至るや、之が經濟的基礎確立の研鑽を重ねつゝあつたが廿二日重慶に於て廿ケ條より成る戰時農、工、商管理條例を公布、民間事業、公共事業たるを問はず作戰機關である凡有る產業を軍事委員會の管理に屬せしめ戰時經濟體制の强化を圖ることになつた、該條例はまづ國内の凡有る生產部門を二分して生產手段生產部門および消費手段生產部門とし、夫々軍事委員會第三部および第四部の管理に委囑せしめ、各企業の管理機關を設立或は直接これが經營に參加し

一、經濟の回轉　二、原料の供給　三、設備の補充　四、技術の指導　五、勞力の供給　六、製品の販賣　七、原料および製品の運輸　八、生產、販賣に必要なる治安の維持

を圖ることゝし、更に各種奢侈品その他日常生活に直接必要ならざる部門はこれを制限或は禁止して戰時產業に動員せしめる、又ストライキ、サボタージュその他生產活動を阻害すべき行爲は一切これを禁止し

一、原料或は製品を敵に供給せるもの
二、企業の祕密を敵に知らしめんとするもの
三、穀倉、農場、鑛山又は工場を毀損したるもの

は死刑或は無期徒刑などの重罰を課する旨規定してゐる、なほ戰時產業管理の方法として各地商業會議所、產業組合、勞働組合技術團體その他職業團體の協力を通じてこれを行ふものであつて、これら團體の存在せざる都市に對しては新たなる機關を創設することになつてゐる

新政府支持
大連民船組合決議

【大連國通】支那民衆の要望を擔つて新たに北京に誕生した中華民國臨時政府の輝かしい使命に對し絕對的支持を決議すべく大連港に出入する無數の戎克の總元締大連民船組合では廿三日午後四時より海務協會において船員大會を開催、新政府支持の決議を行ひ實行委員會を設置、代表を北京に派遣し新政府に向け決議文を提出する事になつた、大連民船組合は大連港出入の山東、浙江方面を往來する戎克約五千隻、船員約二萬人を以て組織する有力な組合であるが、今次の事變以來支那側官憲の不當なる壓迫により同方面への往來は全く杜絕され當時船員は其生命線を脅かされるに至つてゐたが、今回北京に明朗なる新政權が生れたるに大なる希望を繋ぎ新政權絕對支持を闡明する事となつたもので今後これら戎克の北支向け活躍は期待される

黄海道二浦華僑
商會支持決議

【京城國通】鎭南浦駐在張領事の中華民國臨時政府絕對支持の佈告に基き黄海道海州及び沙里院在住中國人は逸早く五色旗下に馳せ參じたが、同じく黄海道二浦華僑商會は在住中國人代表五十餘名を招集二十三日正午から事務所に會合、五色旗掲揚を行つた後張領事の佈告に基き新政府を絕對支持賛同する旨を決議この旨北京新政府始め京城總領事館以下鮮内領事館に打電するとゝもに黄海道廳その他總督府關係當局に感謝電を發し盛大な祝宴を張つた

けふ事變下最初の通常議會召集さる

【東京國通】非常事變下における最初の通常議會たる第七十三帝國議會はいよ／＼二十四日召集されるので政、民兩黨はじめ各派はそれ／＼議員總會または黨大會を開いて勢揃ひを行ひ對議會策を練り黨の指導方針を決定して議會に臨む陣容を整備した、しかして今次の議會は事變下最初の通常議會であるばかりでなく近衞内閣としても最初の通常議會であり、近衞内閣の革新政策を爼上に論議されることゝなり、一方においては擧國一致國民總動員の戰時體制をもつて東洋平和確立のため長期作戰に備へ事變有終の成果を收むることを期し、また一方においては國内諸政策の革新を圖り戰時體制に適應せしむる諸方策を講ずることゝなるので第七十三議會は各方面から注目されてゐる

貴、衆院各派數

【東京國通】廿三日現在における貴、衆兩院の各分野は左の如くである

▲貴族院　皇族一七方、研究會一六〇人、公正會六六人、同成會二三人、同和會三三人、火曜會四三人、交友俱樂部三四人、各派に屬せざるもの三一人

▲衆議院　民政黨一七八人、政友會一七三人、第一議員俱樂部四九人、社大三六人、第二控室一三人、東方會一一人、無所屬三人

山東軍の背信行爲
斷乎膺懲を決意
天津軍司令部談發表

【天津廿三日發國通至急報】山東省内における邦人の既得權益財產が暴虐な支那軍により破壞、掠奪されるに至つたので天津軍司令部では右背信行爲に對して斷乎膺懲を決意し、廿三日午後四時次の如く當局談を發表した

靑島、濟南および膠濟沿線等山東省内には日本は山東還附條約その他の約定に基き正當に保障せらるべき幾多の權益を有し、これに伴ひ在留邦人の多年の努力により築き上げたる數億に達する資產があるのである、今次事變の勃發するや帝國は山東省に戰禍を波及せしめざる希望から在留邦人の總引揚げを決意、もつて事態の發生を防止するとゝもに韓復榘に對しては山東省の大部に亙り、沈靑島市長に對しては靑島特別市に於る邦人の權益財產等の保護方を交涉し、これに對し韓復榘は彼の統制力の及ぶ限り、又沈靑島市長は當市附近にて日本軍との戰鬪惹起せざる限りこれを保護する旨の回答得たので、茲に當局は一時總てを忍んで全邦人を撤退せしめたのである、その後においては靑島港は特に海軍の封鎖圈外に置き、また山東軍に對してもこれを黃河以南に擊退するに止めわが軍は一兵と雖も黃河を越えて前進せしめることはこれを禁止する等凡有る處置を講じたのであつた、しかるに十一月十七日頃より濟南における邦人遺留財產が官憲の公認によつて掠奪せられ殊に十一月廿日前後には現地支那人の失業を恐れての嘆願、外人側の忠言にも耳を藉さず官憲の命令により正規兵をもつて淄川、博山の炭坑を爆破しまた沿線各地の邦人遺留財產は掠奪せられ更に本月十八日よりは靑島に於ては邦人經營の紡績工場地帶が沈市長等の命令によつて爆破及び放火せられ多數の邦人の經營紡績工場は遂に烏有に歸し、次いで最近更に靑島市内の邦人遺留財產が掠奪され、彼等の暴虐なる行爲は今後奈邊にまで進展するや豫測すべからざるに至つたのである、我々は支那側當局の背信行爲たる邦人の遺留財產及び權益等の破壞に對しては徹底的膺懲を加へると共にこれが正當な損害賠償を要求せんとするものなるは勿論、これが保障を獲得することも敢へて辭せないのである

親日防共新政權
南京自治委員會設置

【南京廿三日發國通】皇軍の首都南京攻略によつて蔣政權が擊退されるや旬日を出でずして明朗江南の曉を告ぐる鐘は鳴つた、抗日容共の南京政府と完全に絕緣して親日防共新政權南京自治委員會は二十三日正午をもつて設立され委員達は午前十一時より大使官邸に第一回顏合せを行つて委員會の組織、今後の明朗自治について種々打合せを遂げたが、近く成立式を行ひ皇軍の指導下に自治委員會としての諸行政機能を發揮する段取りでその準備は着々進められてゐる委員會の顏觸れ左の通り

委員長―陶錫山（江寧）、副委員長―王春生（同）、副委員長―詹浪波（同）、委員―程調之（同）、同―孫淑榮（同）、同―胡啓閲（同）、同―羅逸民（同）、同―趙威淑（江蘇人）、同―馬錫侯（同）、同―趙公僕（同）、同―黄月看（同）

委員會設立趣旨

本日南京自治委員會の成立を決定し近く委員會の正式開幕を見る事は同人等の本懷に堪へないところである、顧みるに南京政府の南京建設以來十年間その秕政百出極まる處なく人民の痛苦は實に堪へ難きものがあつた、彼等政府の首腦者は抗日風潮を煽つて排日抗日をもつて政權維持の方便となし更に共產黨と結托して隣邦と難を構へ國民を塗炭の苦みに陷れた、然るに今回日本軍が入城するや旬日ならずして治安の恢復を見た、余は茲に自治委員會の成立に際して本委員會の使命と吾々の希望につき一言申述べたいと思ふ第一は吾々同人は日本軍の指導下に一日も速かに戰禍を被つた南京の復興を圖り同市民をして居に安んじ業を樂しましめる事之である、故に吾人は日本軍の援助の下に秕政百出の國民黨政權と完全に絕緣せる親日政權の基礎を固め直ちに日支提携を圖り進んでは東亞安定の目的を達成したいと考へる、第二には嘗つて當地に居た抗日排日容共等の不良分子は今回の戰爭によつて大部分南京を逃亡し殘留者の多數は良民であるから日本側然るべき指導下に正業に復すべくまた良民に混入せる若干の不良分子に對しても溫和な方法によつて取締を加へたむら治安恢復に資するであらう第三は本委員會は日本軍の占領地區における凡ゆる親日政權乃至團體と連絡して南京の復興に資せんこと之である

張燕卿氏
新民會副會長に決定

【北京廿三日發國通】廿四日を期して成立する政府護持、民衆教化團體たる新民會々長は現在の處空席であるが、會長を補佐する副會長には張燕卿氏が就任することになつた而して之が實行中樞部たる中央指導部長及び組織の綱紀保持に當る中央監察部長の人選は目下之を急ぎつゝあり、成立後兩三日中に各機關の陣容とゝもに發表を見る筈である副會長の重任を擔つた張燕卿氏は彼の有名な淸の名門張之洞氏の子息で日本學習院の出身、滿洲國初代の實業部大臣續いて外交部大臣に歷任した若手政治家である【寫眞は張燕卿氏】

米否定
英との共同動作

【ワシントン廿二日發國通】パネー號事件を契機として米國政府は英國との共同動作を考慮中であるとの風說に對し國務省當局は廿二日米國の極東問題に對する態度は何等變更なき旨左の如く言明した

極東問題に對する米國政府の方針は別段變更なく從來通り獨自の判斷及び行動を基本としてゐる、從つて英國又は他の如何なる國との共同動作をも考慮してゐる事實はない

人事往來

▲山田茂二氏（蒙疆銀行副總裁）廿三日來京ヤマトホテル
▲松本彬氏（官吏）同
▲森川覺三氏（三菱商事）同
▲中野高一氏（吉林總領事代理）同
▲飯島壯次郎氏（正金銀行員）同
▲國藤雪松氏（滿洲製麻）同

偶語

最近郵便物の配達遲延誤配不着等郵政局に對する世間の非難が高い▼一年の決算期である年末に當り商用郵便が不着であつたり誤配されたのでは折角の商取引は滅茶苦茶になり▼送金通知や贈答通知が何處へ配達されたやら分らぬやうではむかつ腹の立つのは人間の常でありその尻を郵政局へ持ち込まれるのは止むを得ないことである▼郵政局にして見れば行政權移讓といふ未曾有の大仕事を仕負ひ込んでその片付の一段落も付かないうちに年末の書入時だ▼頭數は多くとも言語不通で意志の疏通を缺き郵便の山を前に混雜するばかりで一向事務が捗らないのみかその結果が遲延誤配となつて非難の種を蒔くことになる▼その責任は一體誰が負ふべきか？今回滿洲國に移讓した行政權のうちでも〃郵便〃程大きな仕事はない筈だ▼それにも拘らずそのことが一年も前から決定してゐながら十二月一日まで何等人的其他の準備をなさなかつた當局の秘密獨善主義はどうだ▼中央の命によつて動く現場機關である郵政局を責めることは當るまい

社説
英國の極東政策表明

一

二十一日の英國下院において行はれたチエンバレン首相並びにイーデン外相の極東政策に關する闡明は、現在の情勢の中に在つてわれ〳〵としても大いに注目すべきものであつたと考へられる。そこでは勞働黨側の日本に對する制裁論を反駁して、英國の現政府が極東に對して執らうとする自重的な態度が表明されたのである。それは「有效な制裁はたとへ必然的に戰爭を意味しないまでも危險を意味するものである、その背後に政策を擁護すべき壓倒的に強大な武力ありと確信するにあらざれば、何人と雖も極東に於いてこの種の行動を考慮すべきでない、現在聯盟國中大海軍を有するのは英佛兩國に過ぎず、それとて壓倒的な勢力ではない」とイーデン外相が言つてゐるところに明白に現はれてゐる。英國の外交が依然その特徴とする功利主義、實利主義の道を踏んでゐることが知られるのである。

二

斯くして英國は、自國の名譽を毀損せずに平和恢復を確保し得る手段を盡す、他國とゝもに國際義務の履行を分擔する、權益と領土とを防衞するといふことを現下の事態に處する三原則として掲げてゐる。これはいかにも抽象的な表現であつて、われ〳〵はそれが現實の場合にどのやうに發揮されるかをこそ注視せねばならぬであらう。英國は先づこの抽象的三原則を押し立て、而して大いに軍備充實を說き、また米國との友好關係を強調してゐる。軍備と米國との聯繫を背後の勢力としてこの原則の實現を期するといふのであらう。だが英國の軍備がいかなるものであるかはイーデン外相が自ら言つてゐる通りのものである。そして米國との聯繫にしても、今後の極東に對してどれ程の壓力を持ち得るかは疑はしいといふべきであらう。樂觀的な口吻の陰にわれ〳〵は英國の苦悶を察せざるを得ないのである。

三

チエンバレン首相は「今度は日本政府が外國の權益に無關心でないこと及び彼等の保障と陳謝が單なる言葉だけのものでないことを示すべき番だ」と言ふのであるが、それは英國民に對しての說得としてならば結構である。しかし極東今日の事態がいかにして生じたものであるか、またそれが今後に於いて必然的にどのやうに變改されて行かうとしてゐるかを考へるならば、むしろ英國こそがその從前よりの態度を改め、彼等が常に說くところの平和とか合理的權益とかいふものが單に言葉だけのものでないことを示すべき番になつてゐることを知るべきである。舊態依然たる英國外交は英國の爲に取らぬ

北支災害民救濟
官民協力着々進捗
日本朝野の積極的支援期待

【北京廿二日發國通】水災、戰火に引續き最近の寒氣に惱む北支罹災難民の救濟事業は臨時政府災區救濟部を始め官民の協力一致により着々と效果を擧げてゐる、即ち北京のみについて見ても

一、北京社會局經營出粥は米十石を費して連日約五千の難民に施出

一、同社會局經營の溫床は午後四時より翌日の午前八時に亘り連日五百餘人を收容

一、紅卍字會、日支佛教團體慈善聯合會等經營の出粥は毎日平均約三萬の難民に施出

一、北京女子青年會は各戸より古服の寄贈を受け貧困兒童に分配

一、北京銀行公會は北京地方維持會解消に當つて謝禮として贈られた八百元を難民救濟に寄贈した

この外華北農業合作社、華洋義賑會、理教聯合會、淸眞寺等も步調を揃へて難民救濟に乘出してをり、殊に太原、石家莊、保定その他に散在する米、佛、英各國人經營の天主教會その他宗教團體でも地方難民の救濟に當り、皇軍の治安維持に協力の態度に出で顯著なる貢獻をしてゐることは各方面から好感をもつて迎へられてゐる、かくて北支における當面の最も困難な事業とされてゐた難民救濟の事業は官民の深き理解により宗教、慈善團體の積極的援助の下に順調に進みつゝあるが、更に日本朝野の積極的な支援が期待されてゐる

對支國策機關
商議政府へ建議

【東京國通】日本商工會議所では廿二日對支問題委員會を開催協議の結果その建議案を作成、常議員會の承認を經て近衞首相以下廣田、吉野兩大臣並に企畫院總裁に建議することになつた、對支根本國策確立に關する建議案内容左の如し

一、內閣に對支根本國策の確立ならびにこれが遂行指導監督に關する最高中樞機關を設置すること

二、右機關には官民合同の權威ある審議機關を附設し官民協力により政策の適切を計ること

三、前記根本國策に基きこれが意向を指導監督すべき現地機關を樞要の地に設置すること

「北支戰線の歌」と
「戰場だより」
八木沼丈夫氏の力作

「討匪行」の作者として有名な熱血詩人八木沼丈夫氏は目下天津軍宣撫班長として北支に活躍中であるが、最近勇壯果敢な皇軍の活躍振りを歌つた「北支戰線の歌」及び戰地の父から愛兒に送る手紙をそのまゝ歌に託した「戰場だより」の二編をものした

△北支戰線の歌

一、北支の空を制したり　吾等がはずして墜したり　空の戰士と地の勇士　心一つに羽ばたけば　四百餘州は尙狹し

二、玉なす汗は鹽と凝り　兵馬は喘ぐ泥の海　水濠水を張り切りて　糧はつきたり彈丸もなし　眼二つを光らせて　馬臟の軀を吾拔きぬ

三、見るだに迫る懸崖や　南口の鹼血を噴ける　戰友を背負ひて匍匐ひて　銃を奪ひてたゝかひぬ　皇軍なれび軍なれば　凱歌とゞろく長城に

四、空には雨もあるものぞ　降り降り降りて降りやまず　くづるゝ轍を奪ふぬかるみに　如く馬斃る彈丸のみ送れたゝかはむ　糧は畠の生の芋

五、息をもつかずたゝかひて　拒馬の河畔に夕昏れぬ　戰河渡よどむこのときぞ　敵の陣　砲彈纔に碎けとびむなしくひゞく山こだま　山西あげてトーチカぞ

六、千古不落か娘子關　山崩り谷ひ割くる　折口鐵丸を鐵甲の　蒙る敵陣　砲彈纔に碎けと

七、眦に血は滲みつゝ　隊長驅ける鞘の鳴り　つゞく突擊のく〳〵いのち焰と燃ゆるとき　山上山下敵の軀　精氣透りて山裂けぬ

八、涿州、保定、石家莊　彰德、太原はた禹城　戰果收めぬいざさらば　馬に黃河に飮ひて　山東省を一なぎに　長驅衝くべし中原を

九、東天あかねさすところ　北地上の闇はしりぞきて　北支の民に榮あらむ　吾忠勇のつはものが、血しほそゝぎし幾山河　興亞のこゑは地に湧く

△戰場だより

一、きのふは敵が寢た家に　今宵一夜は父もねる　戰後の市はヒッソリと　砲車のきしる音ばかり

二、灯かげも暗いローソクの　下で一筆書いてるよ　おまへも元氣でゐるかい　妹達にもおまへから

三、今度の山西攻擊は　山と煉瓦トーナカにもぐらのやうな敵だから　白兵戰だ、突擊だ

四、手榴彈はボンボンと　花火のやうにはじけたよ　追擊砲はドンガンと　落ちた碎けたはれとんだ

五、日本軍は勇ましい　生きても死んでもたゝかつた　微塵になれと戰つた　馬もだまつて戰つた

六、耳はガンガンしたけれど　おまへの父だ眞先に　軍刀拔いて右左　斬つてまくつたこの腕で

七、勝つた奪つたかちどきだ　天皇陛下萬歲だ　おまへも拜んだ聯隊旗　熱い淚がこぼれたなあ

八、紅い夕陽の落ちてゆく　新戰場で長城で　生きてゐるさへ不思議さに　東の方を拜んだなあ

九、戰死の兵をおもふとき　胸もさけるか身一つを　捧げてうれしつはものだ　國のしづめのますらをだ

一〇、君は何でも知つてゐる　父は安心しきつてる　明日追擊のそのまへに　君の手紙をまた讀んだ

一一、寒くなつたよ風邪ひくなお母さまや先生の　仰しやるとほり勉强だ　お國のために勉强だ

フランス政府
印度支那に增兵か

【パリ廿一日發國通】フランス政府は廿一日午後エリゼ宮に國務會議を開催したが、英國が極東へ軍艦を增派する場合の地中海の警備問題並に最近の極東情勢に鑑み佛領印度支那の增兵問題が協議されたものと解されてゐる

オランダ政府も
伊のエチオピア併合承認か

【ヘーグ廿一日發國通】ドイツのD・N・B通信社が權威ある筋の情報として傳へるところによればオランダ政府はイタリーのエチオピア併合を承認することに決しさらに進んでスエーデンのオスロー會議參加國政府に對しこれに倣ふやう慫慂してゐるといはれる

畏くも
天聽に達す
超音波ガソリン精製法

【東京國通】超音波を化學的に應用して極めて簡單に重油からガソリンを精製するといふ發明が遞信省電氣試驗所第五部の田鶴濱武技手(二九)の研究によつて完成され時節柄各方面の注目をひいてゐるがこの發明は畏くも天聽に達し十五日宮中で近衞首相以下各大臣を召されて歲末慰勞御陪食を賜つた際、天皇陛下には特に永井遞相に對し右の研究について種々御下問があり永井遞相には燃料問題に深く御軫念あらせられる大御心に唯々恐懼感激して御下問に奉答退下したのであつたが遞相は聖慮に報ひ奉るべく右研究の資料を電氣試驗所から取寄せ二十二日午前十一時宮中に參內、宮內省を通じて天覽の手續をとつた、電氣試驗所關係者はこの聖慮を傳へ聞き恐懼し實驗室の成果を工業化に進めるべく研究に邁進してゐる

パ號事件に關し
大本營陸軍部發表

【東京國通】パネー號事件に關し大本營陸軍部では廿二日午後八時左の通り發表した

大本營陸軍部發表＝パネー號爆擊當時陸軍發動艇より射擊をうけ日本兵が同艦に乘込みゐたりとの件に關しては銳意眞相調査に努めたるも當時部隊は各所に分散しざりしためこれが調査遲延せしは遺憾なり、當局は事件發生後直ちに大本營陸軍部參謀を派遣し、現地機關と協力調査中にして現在までに判明せるところによれば、厚意をもつて短時間パネー號に乘込みたる事實あるも該艦を目標とせる射擊の事實を發見せずなほその狀況左の如し

一、某部隊は十二月十二日午後二時頃各種發動艇により太平を出發し、浦口に向ひ下江中その先遣斥候たる發動艇二隻は太平下流において汽船五隻に遭遇し、當時の戰況上これを支那軍の利用せるものと判斷し直ちに引返し本隊に報告せり右報告により全員右岸に上陸し視察中海軍機來りて該船團を爆擊す、當時部隊と船團との距離約二千米なり

二、わが部隊は右船團中第一回爆擊により擱りたる負傷者を右岸に上陸せしめつゝあるものあるを目擊し、第二回爆擊直後小隊長はこれに接近し其アメリカ船なるを知るや直ちに上陸しありし負傷者に對し看護兵をして手當せしめ、次で來着せる中隊長等と共に米國人とアメリカ船の保護に關し協議中該船附近に第三回の爆擊を受けたるをもつて中隊長はこれが中止せしむべく約十名の兵に日章旗をふらしめたるも遂にこれを發見せしむるに至らず、引續き爆擊を受けたために船は火を發しわが將兵もまた死傷せり(死者二、負傷中隊長以下三)其後米人負傷者を船隊漸く沒せんとしたるをもつてこれを附近高地上にあ

三、この頃第三回爆擊により沈沒しつゝある汽船もまた米船なるを知りこれが救助のため他の中隊長は發動艇に將校一名、兵十名を派遣せり該將校及び兵一名は急遽該船に乘込み十二分搜索せしも船上には既に人影なく且つ沈沒の危險迫りしをもつて退船せり(後に至り本船はパネー號なりしを知る)

四、當時あたかも十四、五名の支那兵を載せたる小蒸汽船(後に至り立大號と判明す)該地附近より上流に向ひ逃走するをみてこれに對し距離約千八百米なる陸上より射擊を加へ、また一發動艇をして機關銃にて射擊しつゝ追擊せしめ、さらに他の發動艇を發見し上流

二、三キロにてこれを捕獲せり、該船の舷側には彈痕を認む、前記の如くこの射擊は立大號に對し行はれたるものにして米艦船を目標とせるものに非ず、所謂パネー號に對し射擊せりといふは恐らく本射擊を誤認せしものなりと推せられ、また米艦に對しても跳飛彈なりしにあらずやとも推せらる、射擊の眞相はなほ引續き調査中なり

五、これを要するに陸軍部隊の行動は米艦及び米人に對し何等敵意を有せざりしは勿論、米艦と知りつゝ計畫的にこれを攻擊または侵犯するが如きは全くあり得ず却つて第一線部隊の一般外人特に米人に對する深き同情は彼等遭難者に對する獻身的救護にこれをみるを得べし

關東州內
輸出入品等に關する
勅令廿二日公布

廿二日公布を見た關東州における輸出入品等に關する臨時措置に關する勅令第七百廿七號は、內地母法と大體同樣のものであるがその施行細則において關東州の特性より生ずる立法的技術上の問題があるがため、施行勅令の出るのは多少遲れる筈である、本勅令は特に輸出入品等と「等」の字を入れた點に重要性があるので、これは輸入品に限らず消費、配給等產業一般に亘つて非常時的臨時措置を執り、廣汎な意味を有ち、彈力性のある適宜の措置をとり得るもので、關東州の特殊性に順應し滿洲國および內地と緊密不可分の連絡をとり、漸次統制を行はんとするものである

輸入組合
滿洲國に移管

滿洲輸入組合は輸入商品の仕入斡旋・組合人に對する金融等在滿日本人商發展のため貢獻、現在では滿洲輸入組合聯合會の統制下に全滿都市十七所に組合の設立を見一年約千數百萬圓にのぼる仕入、斡旋をなしてゐるが、治廢實施ならびに毎年十五萬圓の補助金を支給し來つた滿鐵の產業部解消の新情勢に適應するため滿洲輸入組合を滿鐵より分離滿洲國に移管することゝなり兩者間には既にこの基本方針について意見の一致を見るに至つた模樣である、しかして新組合の設立に當つては滿鐵より三百五十萬圓を無利子で融通を受けてゐるのでこれを政府に肩替すると同時に補助金も滿洲國政府より仰ぎ同政府の保護、監督下に本來の使命たる合理的仕入と販賣に邁進することゝなつてゐる

合法左翼派
各府縣別主要被檢擧者

▲警視廳(一〇八名)山川均(六〇)加藤勘十(四六)猪俣津南雄(四九)大森義太郎(四〇)、黑田壽男(三九)、鈴木茂三郎(四五)、荒畑勝三(五二)高津正道(四五)向坂逸郎(四一)中西伊之助(五一)岡田宗司(三六)伊藤好道(三七)稻村順三(三八)大西十寸男(四二)岡崎次郎(三四)橋浦時雄(四七)山花秀雄(三四)北田一郎(四一)中島喜三郎(四六)三輪盛吉(四七)安平鹿一(三六)佐々木瀧三(三一)牧野松太郎(四二)島上善五郎(三五)橋本富貴良(三七)淸水花次郎(三八)永見政保(三五)三浦信義(三九)菅原正松(三六)佐藤參治(三九)土屋銀次郎(四九)新島仙次(三六)中西貞吉の內房吉(三九)田中貞吉(四二)山七)飯崎子之松(四〇)高野實(三美雄(二六)橋本定次郎(四六)關家博(四九)平野武雄(三〇)

▲大阪府(二二名)金島景數(三七)仲橋喜三郎(三八)

▲京都府(一一名)大西文雄(三三)南善藏(四二)

▲神奈川縣　島袋正順(三八)

▲兵庫縣(二一名)木村錠吉(六八)靑柿善一郎(五

▲愛知縣(一一名)赤松勇(二八)近藤信一(三一)桑田喜三郎(四七)藤田章次(三八)森口新一(三七)

▲靜岡縣(二一名)太田重太郎(三七)吉葉淸一(二五)宗義保(四〇)植松七之助(二八)

▲福岡縣(四三名)三浦愛二(四三)神田敏男(四六)靑野武一(三九)澤井菊松(四六)堂本爲廣(四七)川上利德(二九)穗坂六郎(二八)甲斐政夫(二九)下平淺市(三七)

▲栃木縣(一七名)片柳豐一郎(三一)犬塚大一郎(四三)濱野淸(二四)

▲新潟縣(二〇名)玉井潤次(五五)長澤榮(三六)

▲富山縣(六名)上坂榮作

▲福島縣(一三名)大井川幸隆(三〇)加藤誠一郎(三一)

▲秋田縣(一〇名)佐藤賢太、平山忠尙

▲岐阜縣(二名)畑寅雄(二四)木村愛雄(三八)

▲大分縣(十一名)兒玉秀次(三九)矢野年男(三八)

▲和歌山縣(六名)山上爲男(三三)木下淸春(二七)

▲岡山縣(九名)中原健次(四二)重井鹿治(三六)

▲北海道廳(一九名)武內淸、寺島釼藏、吉田三郎

郵政局の
歲末事務延長

郵務司では各郵政局の歲末事務輻輳を考慮し左記各郵政局に限り來る廿六日の日曜日は特に平常通り午前九時より午後四時まで爲替、貯金の現金事務取扱を行ふほか、廿九日卅日、卅一日の三日間は取扱時間を午後六時まで延長することゝなつた

新京、吉林、圖們、四平街、公主嶺、開原、龍井、延吉、奉天、洮南、洮安、敦化各郵政局

吉林より
北支入國者
三十五家族

中華民國臨時政府の樹立と相俟つて北支の治安漸く定まるとゝもに吉林を捨てゝ北支に行くもの日增しに多く當地警察廳外事係の調査によると十二月中(廿二日現在迄)の入支證明下附者は卅五家族で、單なる旅行證明は十二名と記されてゐる

合流匪三十擊退

【安東國通】田上鳳城縣警務科長を隊長とする討伐隊は本月十一日以來縣下第四區方面探査中、廿日匪首趙慶吉、潭五龍の合流匪約卅餘が第四區寶山村石頭溝附近に潛伏中との情報に接し、第四區駐屯第三隊が急遽出動、同日午前十一時半匪團と遭遇、激戰二時間の後敵に大打擊を與へてこれを擊退した、匪の損害射殺五、負傷一、鹵獲小銃三、この戰鬪でわが方は警長李生有警士戴玉英兩氏は戰死し負傷一を出した

御用納式を行ひ
非常時意識昂揚

戰時體制下に暮れ行く昭和十二年もあと旬日にして支那事變を始め幾多の特筆すべき記錄を殘してピリオットをうつことゝなつた、哈爾濱における日滿主要官公衙たる總領事館、鐵道局、省公署、市公署では廿八日をもつて御用納めを行ふことゝなつたが、滿洲國側各機關では一齊に廿八日午後一時より夫々御用納式を擧行し、所屬長より非常時局に對する訓示あり、自肅自戒の精神喚起に努める筈である

明年度體育
スケジュール

＝協和會奉天市本部＝

協和會市本部主催明年度體育スケジュールに關する打合會は、廿一日午後四時よりヤマトホテルにおいて市本部事務長小林、醫大十河、體聯木谷省公署河村、靑年學校長山本の諸氏出席の下に開催左記日程を決定した、なほ右體育競技は記錄とか選手を養成するのが主眼でなく心身の鍛鍊に重點を置いてゐる

建國體操大會(五月二日、七月廿五日、九月十五日、十一月三日)卓球大會(二月十九、廿日)全市民スケート祭(二月一日)陸上競技大會(五月十六日)奉天市民祭(五月一日)排球大會(六月廿二日)庭球大會(七月十六、十七日)全奉天水上大會(八月廿一日)籠球大會(十月二日)野球大會(五月十、十一、十七、十八日)角力大會(六月五日)實業ラグビー試合(十一月三日)武道大會(十一月廿日)ア式蹴球大會(十一月十九日)

商況欄
三日後場

株式相場

●奉天株式 (短期)

銘柄	寄付	大引
滿取	[illegible]	[illegible]
新東新	[illegible]	[illegible]
大連新	[illegible]	[illegible]
日產新	[illegible]	[illegible]
同品	[illegible]	[illegible]
五鐵	[illegible]	[illegible]
滿新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
同甲	[illegible]	[illegible]
電毛	[illegible]	[illegible]
滿電	[illegible]	[illegible]
日業	[illegible]	[illegible]
電化學	[illegible]	[illegible]

●大連株式 (短期)

銘柄	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]

新京取引市況 (廿三日後場)

品目	寄	引	出來高
大豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高粱	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]
玉蜀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大豆 十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大豆 一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高粱 十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高粱 一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]

手形交換高 (廿三日)

[illegible]

國防皇軍慰恤献金品 (本社取扱)

一金一萬三千二百六十四圓九十七錢五厘(關東軍司令部)
一慰問袋千三百三十二個(同)
一金二千九百八十八圓二十七錢(駐滿海軍部へ)
累計 一万六千二百五十三圓二十四錢五厘
……十二月二十三日正午迄の分……

興京 清原 兩縣の復興視察記

1

（臼井特派員）疲勞のどん底にあへいでゐた興京清原兩縣下の復興狀況視察の竹內奉天省次長に隨伴十二月十六日午前八時卅分撫順炭礦クラブ前よりバスに便乘勇躍第一日の旅程に就いた、一行は竹內次長始め杉山總務科長、矢部協和會省本部事務長、北野醫大教授等十五名である

完成された集團部落

氣溫零下七度、九時五十分撫順縣東社着、人口五百、防匪のため新設された集團部落だ、四家村、古家村を過ぎ孤家河を渡れば愈々目的の興京縣下に入る

鄕家堡に着いたのが丁度正午人口一萬を有する興京縣第三の集團部落だ、昨年は八十二回の匪襲を受け人口半減したといふ大刀會匪の流れをくむ土匪蟠居の本據であつたが、集團部落の完成、自衞團の擴充日滿軍警の討匪等により本年は匪襲五回といふ驚くべき治安肅正振りを見せてゐる、匪賊と遭遇八十四回のレコードを持つ藤澤指導官の治安工作狀況報告に一同肅然と聞入る、晝食を終へ一時卅分同所出發三家子を經て金斗峪に着く、この頃より粉雪が北風に混つて降り出した、氣溫はぐつと下つて零下十三度、新集團部落で家屋が半ば完成してゐる、寒空に孜々として働く純朴な住民の姿に竹內次長は衷心より激勵し用意してゐた携行の食糧を分ち與へる、本年四月糧食無く雜草を喰つてゐた部落をは想像だに出來ない復興振りだ、午後五時宿泊所たる葦子峪（興京縣第五區）到着興京縣の中心地で風光絶勝縣下交通網の根幹をなしてゐる、夕食を終つたのが午後七時薄暗いランプの燈下に集ひ沼口副參事官より同地方の治安復興狀況を聞く、この地方は共匪の根據地であり昨年の如きは匪襲百二十數回、加ふるに傳染病は蔓延し人口一萬より四千に減少し目も當てられぬ慘狀を呈してゐたが本年は匪襲十二回損傷殆んとなしといふ治安の完成振りを見せ農耕方面においても共同耕作の擴大等により著しい復興振りを見せてゐる

白雪蹴つて

昨夜來降り續いた雪は五寸以上も積り山野は一面の銀世界だ、午前九時卅分葦子峪出發自動車四台は白雪を蹴つて驀進する、那爾、輪樹底下各部落に糧食を給し平頂山に着いたのが十一時卅分人口三千の集團部落だ、小學校を訪れゝば生徒數百名、縣下でも教育に最も重きを於てゐる部落でこれ等第一國民の成長する曉こそ新興滿洲國は完全なる歩みを續けるのだ橙廠を過ぎ興京縣下唯一の大峠を一氣によぢ登れば警備道路がうねくと山谷を縫つて續いてゐる午後四時永陵着（人口九千）永陵は淸の太宗より四代の祖、宣、直、原、翼各皇帝の陵宮で淸朝時代は毎年營口より遼河を遡航特使を派せられたといふ滿洲國にとつては由緒深き聖地である夕暮ヘツトライトに白雪を照らし一路興京に向ふ午後六時人口三萬を有する縣城興京に入る

復興の喜び溢れる 興京縣を視る

興京は昔新兵ともいひ東邊道各地の交易市場の中心地で車馬絡繹殷盛を極め所謂興京美人で有名な古都である、滿洲國の誕生と共に新兵を興京と改稱縣城をこゝに奠め政治、交通、經濟の中心地として東邊道に重要地位を占めてゐる宮澤參事官より左の如き興京縣下の復興狀況を聞く

△治安工作

（一）集團部落の建設 治安工作の基本として山間に散在家屋を收容本年度において五十部落を新設せんと完成の域に達してゐる

（二）警備道路の新設並に補修 治安維持の大動脈たる警備道路の建設は集團部落の建設と共に治本工作の大宗をなすもので本年度においては復興道路約八十キロを完成

（三）通信施設 縣下各部落との通話連絡並に奉天との直通線架設を完成

△復興工作

（一）民食の貸付 民食糧穀の貸付は四、五、六の三ケ月に重點を置き救濟人員二萬人一人平均三斗五升を配貸し救濟に多大の効果を收めた

（二）役畜の購入貸付狀況 購入頭數二六九頭倒斃頭數六五頭にして成績良好ではないが役畜の增殖は本縣復興上最重要事項で購入增殖計畫を樹立し着々進捗せしめてゐる

（三）家屋建築資金の貸付 昨年度における破壞的集家工作の後を享け本年度の貸付資金の貸付は最も機宜に適し新舊部落とも多數の家屋新築せられ完全に目的を達成した

（四）農耕 本年の耕作に當つては積極的に縣の主力を農耕現場に傾注し警備機關は全力を擧げて春耕警備をなす等共同耕作地の擴大と相俟つて大收穫を收め全縣九ケ所に在る義倉は殆んど充滿の狀況を示してゐる、斯の如く本年度における復興工作は多大の効果を收めたが中でも縣城の復興は顯著で一時二萬台を割らんとした人口も再び三萬台に復し全縣盛衰のバロメーターとして復興の一途を辿つてゐる

同夜午後七時より興京縣協和會本部では矢部省本部事務長を迎へ會員百數十名出席協和會運動の徹底につき座談會開催實踐運動に關し種々懇談を遂げた（カットは防匪のため新設された葦子峪附近の集團部落）

內鮮滿連絡運輸會議 明春臺北で開催

本年十月奉天において開催される豫定であつた第十三回內鮮滿連絡運輸會議は、時局のため開催延期中であつたが、いよく明年一月十七日より三日間臺北に鐵道省、滿鐵、鮮鐵、臺鐵並びに關係船會社代表出席のもとに開催の運びとなつた

滿鐵附屬地卅年史

八島小學校沿革史（四二）

―訓育及び体育衛生方面―

訓育に關する事項

1、本校開校當時は事變後の影響を受けて兒童及父兄の定着性無く落着かず訓育上困難を感じたり（左表參照）

兒童出生地調

新京生	七・六%
其他地方生	九二・四%

（昭和十一年十一月現在）

兒童新居住別調

昭和六年以前	一二・七%
昭和七年以後	八七・三%

2、兒童自治會 昭和十年度より兒童自治會を設け自覺を促し統一的訓練を實施したる結果漸次落着き自律的の學習作業動作に見るべきものあるに至れり、自治會は學級及學校の二に分ち各會長及訓育學習、作業體育の諸係を實行機關として有す、昭和十二年度よりは校外自治會を設置することゝなれり

3、訓練目標 會社訓練要目、校下の實狀を參酌して「質實剛健」を以て實踐目標とす

4、行事による訓練 毎日朝會には全兒童講堂に參集して皇居遙拜、訓話を行ふ外毎月一日神社に參拜し其他儀式祭日等訓話を行ひ訓練の徹底を期するが其結果敬神崇祖及質實剛健の風生じ貯金の美風萌し校風大いに改まるに至れり

配當案

目標	日	週	月	學期	臨時恒久
國家的信念國民的實行力の養成	東方遙拜	校長訓話	國旗掲揚 神社忠靈塔參拜		祝祭日記念日式 勤學祭 卒業始終業 奉告參拜 節句
質實剛健の習慣養成	掃除 規律禮儀 守會食	校長訓話 合同訓練	大掃除と職員巡視 校外訓育	服裝所持品檢查 記名檢查 非常訓練	軍隊送迎 對滿行事 作業日 强調週間 遠足强行 無間食
自治精神實踐力の陶冶	看護當番	週番引繼會 學級自治會	自治役員會 自治總會 校外自治會	役員任命式 反省會	記念日 戊申詔書 震災記念日 時の記念日 貯金獎勵 偏食矯正 校訓類 自治會役員會
家庭との連絡		家庭通信（毎週行ふ）		父兄會（一回） 母の會（一回） 學校參觀	

二ケ年間體育設備狀況左の如し

品名	十年度購入個數	十一年度購入個數	合計現在數	備考
鐵棒	二連	六	一〇	內三ー父兄會（器）
低鐵棒	二四		二四	父兄會
跳箱	三	低學年用 一	四	
沓切板	三		三	
沓切材間板	三		三	
スプリングボード	一	一	二	
バック	二		二	
マット	六	三	九	
肋木（內）	連 二四		二四	（器）
肋木（外）	連 一五		一五	（器）
ブランコ	六人乗 一		一	（器）
ジヤングルヂヤム	低學年用 一		一	
引網	二		二	
滑台	一		一	父兄會
吊棒（內）	一		一	
吊縄（內）		九	九	
吊梯（內）		二七	二七	
籠球ボード（內）	一	二	二	
排球ポスト（內）		一	一	父兄會
卓球台		二	二	父兄會
指揮台	二		二	（職）
野球具一式	一		一	
野球用ネット	一		一	
排球用ネット	一		一	
庭球コート	一		一	
庭球ネット	一		一	
手球ゴールポスト	一		一	
フープ	一		一	
ストップウオッチ	一	二	二	
シグナルピストル	一	二	二	
フットボール	五		五	
バレーボール	五		五	
ラグビーボール	一		一	
バスケットボール		二	二	
スクップ本	五〇		五〇	

品名	十年度購入個數	十一年度購入個數	合計現在數
空氣入	一		一
メガホン	五		五
スケート研台		一〇	一〇
撤水タンク	二		二
撤水ホース	五		五
ホッケーステイック		二	二
ホッケーパック		二	二
ホッケーゴールスツイク		二	二
ホッケーキーパー胸當		二	二
ホッケーキーパー脛當		二	二
ホッケーキーパー手袋		二	二
ホッケーキーパーマスク		二	二
ホッケーキーパーゴイール		二	二
源平球入器		一	一
砂場	一		一
二百米トラック		一	一

男子發育統計表

	(年度別)	7年	8年	9年	10年	11年	12年
身長	昭和10年度	111.3	114.5	122.0	125.0	129.3	135.0
	昭和11年度	110.6	114.1	121.2	124.8	129.5	124.6
體重	昭和10年度	19.09	20.40	22.80	24.50	26.97	29.60
	昭和11年度	18.37	20.90	22.28	24.89	27.00	29.75
胸圍	昭和10年度	54.80	55.10	58.50	59.60	60.80	63.60
	昭和11年度	55.20	57.90	58.70	60.60	62.80	66.20

女子發育統計表

	年度別)	7年	8年	9年	10年	11年	12年
身長	昭和10年度	109.2	114.8	119.8	125.6	129.8	135.4
	昭和11年度	110.0	113.5	120.7	121.2	130.3	133.6
體重	昭和10年度	18.22	19.94	22.61	24.68	26.76	30.11
	昭和11年度	18.02	19.57	22.10	24.72	27.29	30.57
胸圍	昭和10年度	52.80	55.60	56.80	58.90	59.70	64.2
	昭和11年度	53.50	55.60	57.70	59.30	62.50	64.7

其他

5、土地及一般社會より受けし影響 本校な滿洲事變後勃興せるダイヤ街と稱する繁華なる商店料理屋等の一劃に位置し且校地低凹にして耳目に觸るゝ物教育上好影響を與へざるを懸念されるにつき極めて質實剛健の氣風を養はんことに努めつゝあり

體育衛生方面

1、體育に關する設備は特に意を用ひて充實を圖り先づ初年度に於て低鐵棒鐵管製二十四間を父兄會の寄附によりて設けたるの外肋木鐵棒跳箱等創設以來二年間に一通りの設備を遂げたり

2、本校兒童は一般に身體の發育狀況良からざるに鑑み極力體操其他により發育の助長に努めたるが二ケ年間の狀態左表の如く體重胸圍に於て著しく增加の傾向なり

3、本校兒童の健康狀態は良好ならざるに鑑み努めて戶外運動を獎勵し遠足校外敎授を盛ならしむる他冬季氷滑を獎勵したるが漸次普及するに至り昭和十一年沿線兒童氷滑大會に始めて出場して優勝したる外第一年第二年共に全新京小學校スケート大會（一年より六年に至る全學年參加）に於て最優位の成績を收めたり

4、衛生設備は本校兒童により必要を痛感し其充實を圖り診療室の設置を要望し昭和十一年度に於て眼科齒科の診療室を設備せりトラホームの如きは創立當時十三パーセントなりしも昭和十一年度末に於て六パーセントに減少を見るに至れり

5、健康增進虛弱兒童救濟に就ては夏季會社主催の海濱溫泉聚落に參加せしむるの他夏季休業中毎朝早起會を催し兒童父兄を集めてラヂオ體操を行はしめたり

犯罪の跋扈する季節 防犯に備へよ!

首都警察 防犯股長 村上警佐談

年末に發生する犯罪豫防に備へて首都警察廳では管下一齊に去る十五日より〃年末特別警戒〃を實施してゐるが、同廳ではさらに防犯の完璧を期するため官民一如を以てなすべく計犯股に於ては防犯ポスターを作成市內各所に配布民衆に呼びかけて各自の注意を促す等大童の活動下に萬全を期しつゝあるが、防犯股長村上警佐は左の如く年末期の防犯に備へる市民の心構へに對して語つた。

一年中で比較的犯罪の少い時期と非常に多い季節とがあるのであります。勿論犯罪の種類に依つて各々異るところもありますが、窃盜、强盜詐欺等から申しますならば一年中十一月十二月一月が最も多い月でありまして所謂犯罪季節と言はるゝ程であります 何故に犯罪が多くなるのかと申しますとそれは色々原因もありますが、其內でも一番關係の深いものは衣食住即ち生活關係から來るのであります 夏の間は各家庭共比較的に生活組織が簡單で食物や衣類や薪炭でも極く經濟的に取扱はれますが段々と氣候が寒くなつて來るに從つて食物の量も自然多く要求すると同時に衣類も多くなるのみならず夏衣よりも高價なものが必要となり然も住居に於ても煖房其他に要する薪炭の消費等直接各自の生活に響いて來るのであります。

常に一定の職業を持ち實直に働いて居る人は如何なる場合に遭遇しても決して生計がぐらつく樣な事はありませんが、常に放縱な然も無規律な生活を續け生業を厭ふ癖のある人には寒風と共に其生活苦が襲ひ來ると同時に一たまりもなく打ち負けて心の舵を執りそこねまゝよとはかり自暴自棄となつて茲に社會の落伍者となつて仕舞ふのであります。之等落伍者の群が此處彼處に湧き出し己が生きて行かんが爲の方法として善惡を度外視し手當り次第善良なる家庭に魔の手を伸し其隙を窺ふ樣な始末となるので寒さえ向ひ年の瀬迫るに從ひ犯罪の增へる原因の一つは正に茲にあるのであります。

この樣な落伍者は「生きんが爲め」と云ふ背水の陣を布いての死物狂の活動でありますから時には想はざる事件を惹起し一般の生活を脅威させる樣な事が數限りありません。本年も嚴寒の時節となり今や慌しい師走の暮に差迫つて參りまして一般家庭は一年の總勘定に官吏はボーナスを懷中に正月仕度にと何れも迎春準備に身も心も奪れてゐる時期となりました。

虎視眈々として隙あれかしと待ち構へてゐる不逞の徒は得たりとばかりこの人心の間隙を握つて押賣、廣告募集僞店員、僞會社員、掏摸等の如き輩が活動し種々の犯行を恣にせんとして居るのであります。

犯罪の被害は不注意からと申しまして全く氣持の落つかず浮腰の時に必ず現はれる事は爭はれぬ事實でありますから一般家庭に於かれましては左記事項其他に注意を拂はれて種々の被害に罹らぬよう注意が肝要です。

一、家庭には「ナイトラッチ」內錠を使用し訪問客其他を直接屋內に入れざること
一、雇人の身元は調査して置かれること
一、外出時間は出來得る限り短かくし留守居を置くか戶締を嚴重にすること
一、外出の際は必要品以外を携行せず懷中物に注意すること
一、婦女子は夜間の單獨外出を愼むこと
一、歸宅を急ぎ危險場所を通らぬこと
一、自動車運轉手の夜間營業は助手を同行すること
一、電話の註文にて釣錢携行には注意すること
一、消防署及最寄派出所の電話番號を記憶し置くこと
一、被害は先づ派出所に屆けること

料理獻立

魚生粥(お魚のお粥)

これは支那風のお粥でつまりおさしみ入りのあたゝかいものでございます。お寒い夜には皆樣に喜ばれますから申上げませう。

【材料】(五人前)
米 二合
魚の刺身 三人前
葱 二本
粉山椒 少々
鹽、調味料

お粥を炊きお丼の底へ刺身、刻み葱、鹽、調味料を入れた上から入れて出します。

凛々し銃後の女性

女子青年學校生徒の活躍

七月事變發生以來全支にわたつて活躍する皇軍將士の奮戰に感激した各婦人團體が銃後の護りも固く各方面に活動してゐるが、その中の忘れてならないものの一つとして新京青年學校女子部が有る、同校は高等小學校卒業の女生徒を收容して現在一年生五十名、二年生二十九名計七十九名の生徒數を算してゐて、この僅かな人員でありながら早くから自治會を組織して先生の指導を待たず全生徒打つて一丸となり種々の愛國運動に參加して遺骨、傷病兵の出發到着には必ず驛頭まで出る外國防婦人會に青年學校分會として專修科女生徒と共に加入、關東軍より依賴された慰問袋作成には常に率先して努力してゐたが、今回九月以來每日僅かながらも貯蓄して集めた恤兵金と學業の餘暇に作つた千人針を携へ、一年生級長中谷可代、奧村みき子と二年生正副級長二宮初子、宮本よしえさんの四孃が生徒代表として松下教諭に引率されて關東軍を訪問、獻納の手續を執つたので關東軍係員も此の銃後の赤誠の披瀝にはいたく感激して受取つた【寫眞は生徒代表四孃の關東軍訪問】

Xマスの華麗な裝ひ

和裝と洋裝の場合

□和裝の場合□

先づ和裝の場合にはクリスマスは主として遊びを主としたお祭ですから服裝も仰々しい第一禮裝の必要はありませんで帶も丸帶でなくとも袋帶で結構、ことにお宅で結ぶのには袋帶の方が柔かくて締めよいでせう。お太鼓では淋しすぎますからもつと派手にして而も簡單な結び方は、テを少し長くとり、お太鼓と同じやうに結び、兩側からテを擴げお太鼓の山に二本ほど襞をとるとぐつと華やかな型になります。またもつと感じを變へたいときには、お太鼓をすこし長くして折り目を二つとりタレを斜にするとすつかり夜會向になります。次にクリスマスは大抵自動車で往復なさるのですから、コートやショールの必要はないと存じますすから、殊に帶が大きくなつてをりますすから、コートをお召しになると背中が盛り上つて恰好もよくないものです。

□洋裝の場合□

先づお召物はイブニングか或は派手なアフタヌーンをお召しになるのですから、髮やお顏も相當派手になさらないとお召物に負けてしまひます。髮には造花とか或はクリップ等をつけて下さい。

お化粧はシャンデリヤの下では相當明るいお化粧でないと和調致しません。で白粉は不斷の樣なオークルでは黑ずんでしまひますから肌色にピンク色のかゝつたやうな色が美しく見えます水白粉を薄く塗つてから粉白粉をつけてもよく、或は最初粉白粉をつけたら、その上を化粧水で押へてから更にもう一度粉白粉をつけます。もつと凝つたお化粧をしたい人は、ドーランを用ひます。これは下地にコールドを薄くすり込くでからドーランを指先で塗り顏によくのばし、その上から粉白粉を叩くたゝきます。また頰紅や口紅も明るくて濃い色を用ひます。尙ほイブニングで肌や背中を出す場合は、豫め脫毛劑でムダ毛を除き、當夜は淡いピンク色の白粉を極く薄く塗つて出かけます。

スキー座談會(四)

婦人にスキーを奬める話

田中氏 スキーは非常に愉快なものです、先づスキーには、スピードがあります、それから銀世界の雪邊を捉へて居る、氣がクシャ〳〵して居る時にでも、スキーをやると一ぺんに直ります、これは殊に婦人方に奬勵すると良いと思ひます(笑聲)

松宮氏 明治四十五年一月七日の東北日報に「スキーと骨盤の關係」と題して次の如き面白い記事があります、「高田知命堂病院長瀬尾醫學士曰く「スキーの流行は體育上極めて喜ぶべき現象である、我が高田高等女學校でもスキーを購入したさうだが婦人のスキー練習と來ては尙更珍妙だ、でこの珍妙といふことについて少しく說明を要する、スキーの練習は婦人の骨盤を發達せしめ、いとゞ大きいお臀が益々大ならしむるに就いて二個の利益あり、一はお產を輕るからしめ、一は亭主をお臀の下に敷くに便なり、スキーの流行は我々男にとつて大いに警戒すべきものである」(笑聲)

小秋元氏 それについては長岡外史閣下が當時新聞に述べられた記事に面白いことがあります、長岡閣下は日本で最初に高田聯隊にスキーをやらせた方で明治四十三年一月にオーストリヤのフォン・レルヒ氏が來朝し主としてその指導したのであります、その記事によりますと長岡閣下はどうしても女にもスキーをやらせなければならぬといふのでスキーを盛んに奬勵するのですが口では「ハイ〳〵」と言つてゐるがなか〳〵やらうとしない、それで一日將校に命令を出して今日は奧さん同伴で來るやうにと言ひました、これは命令ですから致方なく奧さん同伴で參りますと奧さん方に軍のスキーでやれといふ命令なので始めました處が隣が女學校だつたので女學生が段々眞似をする樣になつたのです、すると校長が驚いて女學生があんな眞似をされたら困る、あれだけは止めて呉れと申し込んで來ました、又將校連も弱つて居たのですが、その結果は段々お產の率が良くなつて來る、又保健の方からいつても極めて良くなつたといふ昔話がありますしそれから前の御話も事實なんです

本紙特約連載漫畫 ガラムシャおピー 倉金良行

ヒトヒネリニシテクレーン
ナニヲコシヤクナ
オウ、スケエ
ブーンブーン
アリャアリャ
ハッハッ
ウヌワザモノワメンドウナリ
イザ
ココロエタリ

けふの番組

「M・T・O・Y 新京放送局」廿四日(金曜日)

ラヂオ

東京無線 ラヂオの御用は 電③四九二〇・五三八九番

(朝)

七、五〇 ラヂオ體操、入港船のお知らせ(大連)
八、一〇 ニュース 氣象通報
八、二〇 初等滿洲語講座(大連)
八、四五 朝の音樂(大連)
九、〇五 經濟市況(東京)
九、三〇 經濟市況(東京)
九、四五 建國體操
一〇、〇〇 家庭講座(大連) 新題に因んだ國花の話 和泉光艷
一〇、二五 料理獻立(哈爾濱)
一〇、三五 家庭メモ
一〇、四〇 經濟市況

(晝)

一一、三五 經濟市況(大連、新京)
一一、四〇 經濟市況(大連)
一一、五九 時報(東京)
〇、〇一 晝の演藝 尺八とアコーディオン合奏 ギター伴奏付
尺八 片岡幻山
アコーディオン 佐竹正光
ギター 小野重雄
一、夕風 野根桐山作曲
第一樂章 湖上の夕暮
第二樂章 夕風の歸帆
第三樂章 湖邊の靜夜
二、夢 久木玄智作曲
三、花の露草 久木玄智作曲
四、薔薇の花 久木玄智作曲
五、組曲聖婚
〇、三〇 ニュース(東京、新京)

(夜)

一、〇〇 經濟市況(大連、新京)
三、〇〇 經濟市況(大連、新京)
三、四〇 經濟市況(東京)
四、〇〇 ニュース(東京)
ニュース、氣象通報(新京)
四、四〇 經濟市況(大連、新京)
五、二〇 ニュース(鮮語)
聖歌(鮮語)新京聯合聖歌隊
六、〇〇 子供の時間(奉天)
小さい音樂會
獨唱 稙田貞子
同 伊藤滞子
金嶺管絃樂團
六、二〇 コドモの新聞(東京) 關屋五十二
六、二五 趣味講演 クリスマスに就て 高橋三
七、〇〇 ニュース(東京)
ニュース、告知事項(新京)
番組豫告(新京)
七、三〇 常磐津(東京)
楠公櫻井の訣別
淨瑠璃 常磐津文字太夫
同 常盤津小文太夫
同 常磐津春字太夫
三味線 常磐津菊三郎
上調子 常磐津菊吉
八、〇〇 地唄(東京)
楠昔噺 富崎春昇作曲
箏 富崎美喜子
三絃(本手)富崎春昇
同(替手及地)富山清琴
八、二〇 管絃樂(東京) 日本放送交響樂團
指揮 ヨーゼフ・ローゼンシュトック
歌劇「ヘンゼルとグレーテル」前奏曲 フンパーディンク作曲 外三曲
九、〇〇 時事解說(東京)
九、二九 時報、ニュース、ニュース解說(東京)
ニュース、氣象通報、告知事項、番組豫告(新京)
一〇、二〇 ニュース再放送 アナウンサー 野村宮岡

常磐津 楠公櫻井の訣別

後七・三〇(東京)

淨瑠璃 常磐津文字太夫外
三味線 常磐津 菊三郎外

「清き名を千代に傳へて菊水の流れ久しき湊川楠流の幕張は實に勇ましき備へなり 合「爰に楠正成は鎧直垂(合)美々しくも勲然として(合)座を構へ「從者を近く招き給ひ「最前申し付く如く滿一には正行を伴ひ急ぎ來れと申されよ「畏まつて候彼方の幕に打ち向ひ「如何に恩地殿若君の御供申し急ぎ御前へ御參りあれとの御事に候「心得て候「恩地左近は若君を誘ひ前に手をつかへ「若君の御供申して候へ威儀を正して正成は「如何に正行只今父が申す事能く〳〵承はれよと顏つく〳〵と打見やり「某が申す事餘の儀にあらず此度の出陣こそ正成討死すべき時こそ至れり正行其方は滿一を伴ひ「千早へ歸り身を愼み上を敬ひ下を隣み某が志を繼ぎ必ず忠節忘るゝな是を世の別れと思ひ急ぎ故鄕へ歸られよ「又滿一には正行の成長を賴むなりと「言ひ聞かすれば正行は父の御顏打まもり「仰せ謹んで承はり候去年ら弓箭の家に生れ父の最後を餘所に見て誰に面を向くべきぞや只召具させ給はりたし「小賢しき事を申すものかな是皆朝廷への御爲めなれば疾く〳〵千早へ歸り候へ「如何に仰せらるゝとも罷り歸ること成り難し「やあ斯程まで父が申すことに隨はざるや此上は我心腹を語つて聞かせ申すべし「抑も逆徒尊氏兄弟西海より大軍を率ひ上洛すべき由叡聞に達し急ぎ正成に馳向ひ義貞と力を協せ追伐すべしとの勅諚なりさはあれど勞れたる官軍にては存じもよらず恐れながら正成存ずるは糧道を絕ち義貞と內より攻め候はんに於ては必定御勝利疑ひあるべからずと申上ぐるといへども坊門殿の支へにて既に防戰に定まること偏に天運の極まりなり歎きても餘りあり「良藥口に苦し忠言耳に逆ふと言ふその故事を悟り給ひし藤房卿には世を遁れ今正成が首途も「引きはかへさじ弓取りの矢猛心の節淸く世をいさめんと思ふなり「獅子の子を生みて三日を經る時は數千丈の巖より是を投げて試みるに(合)その千獅子の氣力あれば宙より刎ね返りて(合)死せずと云へり「況んや正行十歲に餘りぬ一言耳にもとらず此教誡に違はざれ我討死と聞くとても歎きを止め何處までも朝敵を平げて聖運の開けん事を思ふべし命のあらん其程は帝居を守護し奉り汚名を遺すこと勿れ生ひ先思ふ撫子にかゝる淚や楠の露合「時しも頃は五月雨の古枝も茂る下草の雫の絞る袖袂「春は暮れにし櫻井の名にだにありて朽ちざるは石になりてふ楠の葉の恨みも何かあまざかる鄙人までも哀れ知る恩愛親子主從の「別れの御酌仕らん「銚子土器取持ちて恩地左近が御酌に暫し時をぞ移しける「かくて時刻も移るなる疾く〳〵歸れと潔き仰せに從ふ主從は盡きぬ淚瀧つ瀨や流れも淸き河內の國へ歸るも孝行留まるも忠義の道の守護神畏きためしぞ難有き〳〵

地唄 〃楠昔噺〃

(富崎春昇作曲)

【東京後八時】

琴 富崎美喜子
三絃(本手) 富崎春昇
同 替手及び地 富山淸琴

むかし〳〵其の昔、祖父は山へ柴刈りに、祖母は川へ洗濯にと、子供すかしを今こゝに、思ひ合せし河內の國、秘原村に年を經て、身の達者なが德太夫、七十越えし老の坂、柴刈に行く道連れと祖母は六十路の水はくむ、洗濯盥いただいて、鶴のひよくの友白髮、さぞひ合ふたる一と連れは、しゆうしよふにも又しほらしし、祖母は川邊に盥を下ろし、流れに下りて洗ひ物、もみ洗ひよりふみ洗ひ、川邊の石を臺にして、かいげ柄杓の、かけ水も、さつと打つてはとん〳〵さつささあとん〳〵、さあとん〳〵、きぬた拍子や三ツ拍子、水さわやかにかけ流す

家庭医学

突然吐血する胃潰瘍

發見された新療法

胃潰瘍は、わかり易くいへば、胃壁がたゞれ、抉り取られる病氣で、最初は胃酸過多症と同様な症狀を呈し、胸が焼けたり、しくしく痛んで來ますと、痛みの

發作

と共に突然血を吐き、その量も多い人は、金盥に一ぱいも吐くことがあつて、それだけでもう氣の弱い人などは絶望してしまひます。

これに對して從來は確實な療法がなく、まづ絶對安靜で胃部を氷嚢で冷やし、暫くは全然食事を禁じ、滋養灌腸位で様子を見た後おもむろに流動食を與へるといふ様な、きはめて消極的なやり方でありました。

所が三四年前、佛國ストラスブール大學のアロン、ワイス兩教授が、ヒスチヂン療法なるものを發見提唱し、その効果の著るしい事が傳へられたのでありますが、

最近

我國においても、京都帝大の豐島博士が、多數の胃潰瘍患者に就いてこの療法を試みられ、驚くべき好成績を擧げてその効果の確實な事を立證されたのであります。」

この療法は、アミノ酸の一種なるヒスチヂンを注射するだけで、從來の様に食餌に對する嚴重な制限の必要なく、また輕症の患者は日常の執務をし乍ら療養出來るといふ風で、實に劃期的の大成功でありますが、慾をいへば輕症の患者など注射をしなくて濟む方法があれば、更に好都合なわけであります。

然るにこの問題もついに、獨逸のヘルベルト・ウインテル博士が、ヒスチヂン内服によつて、胃潰瘍治療に成功した事によつて解決されたのであります。

併しこの事は既に、吾國においても注意されてゐたので、即ち豐島博士が取扱はれた

患者

の場合にも、ヒスチヂンを多量に含有する内服劑「わかもと」を投與した患者が常に良好な經過を見てゐた事實から、同博士もヒスチヂン療法に對する自信を强められたと云はれてをります。

この「わかもと」と同様な成分から造られた若素（わかもと）は既に著く、胃腸病に對する著効を知られて、汎く用ひられてをりますが、本劑は單にヒスチヂン許りでなく、胃腸機能を活潑にする諸種の活性酵素やビタミンB等をも豐富に含んでゐますので、總まつて、胃腸組織の病變、衰弱を恢復し、强健な組織を再生せしめる作用にすぐれてをります、特に若素（わかもと）が簡易な内服劑として各家庭で廉價に療養出來る道を拓いた事は、胃潰瘍のみならず、廣く胃腸病者にとつて大きな福音といへませう。

医学メモ　風邪を御用心

之からは感冒ひきが多くなり、感冒から結核や中耳炎、腎臓炎などになつて生命に拘はる例がよくありますから、どなたも油斷がなりません。

感冒をひき易いのは、皮膚が弱いからでもあるから、冷水摩擦や、日光浴で皮膚を鍛錬する事も、豫防の一方法ですが、全身の抵抗力の薄弱が主因ですから、全身の機能を養ふ榮養を充實する事が最も大切です。

それで若素（わかもと）といふ藥を常用しますと、各種の榮養素や酵素が補給されて、榮養が増進し、人體諸機能を活潑にしますので、容易に感冒をひかなくなります。

下痢と便秘はどちらが危險か？

腸の病氣はいろ／＼ありますが症狀の上から見て、下痢を主とするものと、便秘を主とするものとの二つに別ける事が出來ます。

この二つを比べて見ますと、下痢の方は、吸收さるべき榮養分が

十分吸收されず

その儘排泄されるのですから、衰弱は必然であり、かつ下痢そのものゝ不快さも手傳つて、何となく危險が感じられ、早くそれを止めやうとする人が多いものです。

便秘は勿論不快には相違ありませんが、その度は比較的緩慢に來ますので、慢性になつて亢じて來るまでは、放つて置く人が多い様であります。

併し便秘の害が決して輕んじられるわけには行かないといふ事は夙に、斯界の權威メチニコフ博士の立證する所で、即ち緩慢なだけそれだけ、不知不識の裡に全身にその障碍が行き亘り、體組織を疲弊させ機能を減退させる事は恐るべきものがあり、メ博士も「便秘者に長壽者なし」と喝破してゐる位であります。

便秘で不快な感じがする時に、誰しも思ふのは緩下劑であつて、事實常習便秘者の多くは、緩下劑の常習者である様ですが、これは實は考へ物なのです。といふのは緩下劑は、腸管の神經に刺戟を與へて、分泌や蠕動を促す筈なので常用してゐると、その刺戟に神經が馴れて、後にはそれも効がなくなる許りでなく、もつと强い刺戟がなくては、全く排便出來なくなつてしまひます。

下痢の場合にも、その原因や病狀を考へないで止瀉劑を用ひることは危險なので、今日では醫者も止瀉劑あるひは下劑といふものは

極く一時的の處置

として用ゐるに過ぎないので、慢性の場合には、その病原に適つて根本的の治療法を講ずるのであります。

常習便秘の家庭療法藥として、專門家の間にも最も推奬されてゐるのは、複合ヘーフェ菌劑若素（わかもと）でありますが、この藥の特長は、一時的の腸の神經を刺戟するといふ様なものでなく、細胞原形質賦活作用といふ獨特の働きで、腸の組織細胞に活力を與へ衰弱してゐる機能を自力的に更生させるといふ點にあります。

即ち便秘にしろ、下痢にしろ、その根本の原因はといへば、腸管の組織が衰弱してゐて、分泌、運動等の機能に異常が生じてゐるのでありますから、若素（わかもと）の細胞原形質賦活作用によつて、その組織を健全にし、機能の異常を正常に還す様にすれば、榮養の吸收も排便の狀態も自然に健全になつて行くわけであります。

この若素（わかもと）は東京芝公園大門、わかもと本舗榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇〇番）から三百錠入、二七〇瓦入、千錠入、粉末九〇瓦入、二七〇瓦入等が一日分僅々五六錢（小兒には二、三錢）の廉價で發賣されてゐます。尚、滿洲國、中華民國の各地藥店でも取次ぎ販賣して居ります。

“結核體質の子”

これから寒くなると生來虚弱な子供は一寸したことからよく風邪をひいて熱を出し偏桃腺を腫らしたり肺炎に罹つたりすることが多くなりますが、こんな子供の體質は腺病質といつて[illegible]の對症療法だけではシンから丈夫な體質に恢復させる事は困難ですが若素（わかもと）を服ませてゐますと榮養素の補給と胃腸や諸器管の强壯化が同時に得られ自然と抵抗力が强まるのでさうした子供の體質も丈夫になつて來ます。

教員生活の過勞から　貧血と不眠

（朝鮮）金恩來

何の心配もなく、氣樂な生活をしてゐた私は、教員生活に入り一日四五時間の教授をなし、その上事務に作業に働く様になつた爲、精神的方面にも身體的方面にも過勞を來したのが私の病氣の原因だと思ひます。

初め中は全身がだるく氣持の上に締りが無く、又急に食慾が無くなり、これが原因で榮養不良となり貧血となり、夜は空腹の心配のみ走つて眠れません、眠つたと思へば悪夢がぐつしより濡れる程の寢汗です。

こんな有様で勤務すらも嫌になりましたがどうにかこの弱體を强健化させて、第二の國民の養成に盡瘁せねばならぬといふ心が日増しに烈しくなり、何かよい方法と藥はないものかと方々から探して實行して見ましたが、これといふ効果がなく悲觀してをりました。

その頃自分の兄（警官をしてゐる）からお前の様な體には「錠劑わかもと」がよいと言つて一瓶送つて呉れました。なあにこんなもの服んだつて、果して効くかどうかと疑ひ乍らも兎も角服んで見ました。

この様に疑つてゐた處が、服用する中に何時しか食慾が進む様になり、下宿屋の主人も驚く位でした。又盗汗も何時となしに無くなり、夜はぐつすりと眠られ、激務をしても大した疲勞を感ぜぬ様になりました。そして氣分も愉快になつて再び教職に盡瘁出來る様になりました。

滿洲 支那 兩事變戰歿勇士大慰靈祭

日、滿、蒙疆代表參列 空前の合同盛儀

遺族に對しては特別の優遇 廿六日忠靈塔前執行

昭和八年四月以降の滿洲事變及支那事變戰死者の大慰靈祭は廿六日忠靈塔前において在滿の遺族百余名を招待し、日滿、蒙疆各機關代表以下七百余名の來賓並に都下各官廳、會社、國體參列のもとに盛大に擧行されるが廿三日式次第その他左の通り決定した

一、先 修祓の儀(正午)
一、次 御扉を開く 慰靈祭委員に於て奉仕
一般一時五十分迄
一、次 神職祝詞を奏す(午後二時)
一、次 祭主祭文を奏す 軍司令官
一、次 祭主玉串奉奠 軍司令官
一、次 弔電捧讀
一、次 神職玉串奉奠
一、次 各代表玉串奉奠
(一)遺族代表石川中佐未亡人
(二)日本陸軍代表東條參謀長
(三)日本海軍代表谷本海軍部司令官
(四)日本國代表澤田參事官
(五)滿洲國代表張景惠(國務總理)
(六)蒙疆代表德 王
一同拜禮 同時
祭典委員長挨拶 東條參謀長
諸員退下(午後三時)
一、次 撤饌 慰靈祭委員に於て奉仕
一、次 御扉を閉す

(備考)
一、來賓並に國體は午後一時五十分迄に參列のこと
一、參列者は防寒の用意を充分すること
一、一般個人は午後三時式終了後參拜のこと
一、當日は全滿各戸は國旗を掲揚し各在住地忠靈塔に參拜すること
一、一般からの供物は會場の關係上なるべく現金にて獻納あり度い、申込所(新京特別市公署庶務股)

なほ當日參列する遺族に對しては特別に優遇し戰死者一名に對し二名宛遺族を招待し一等親には汽車全額パスを二等親以下のものは半額割引券を送り希望者には防寒具を貸與し、宿舍には軍人會館を提供し國防婦人會總動員で懇ろな接待にあたり午後三時式典終了後は五時迄軍人會館に於て映畫會を催し午後五時より委員長並に役員全遺族と晩餐をともにし記念品を贈呈するほか當日並に翌日の午前中は戰跡を案内する等鄭重懇切な好遇法が考へられて居る、また市内の常設館では二十五、六兩日遺族に對し敬意を表す意味で無料のサービスをする

移讓、歲末事務の重複 思はぬ手違ひ

非難に郵政局辯明

年末を目睫に控へ商業戰線に火花を散す商店界はもとより一般の通信頻繁を加へつゝあると云へ郵便物の配達遲延、不着誤配等のため思はざる結果を生ずるところより郵政局に對し非難の聲が大きく叫ばれるに至り郵政局に於ては時宛かも行政權移讓直後でもあり年末繁忙期とてその影響の重大性に鑑み鋭意業務の改善に頭を惱ましてゐる、右につき小島中央郵政局長は左の如く語る

當局の郵便配達區域は以前の三倍六十六區に擴大されたが舊附屬地內は從來通り內地人が配達し新市街方面は頭道溝局で配達してゐたものが配達することにしてゐるのであるから、誤配はない筈であるが、何分移讓の仕事が片附かないうちに年賀郵便の特別扱ひを開始することになつたゝめ非常な混雜を來し一般にいろいろ御迷惑をかけることゝ思ふが誠に申譯ない、我々局員としては移讓前も今も日滿一德一心の精神に立脚して働くことに何等變りはない、充分原因を調査研究して御迷惑を除去する積りである

代谷副局長談

中央郵政局の郵便物配達に關する非難の聲に對し新京郵政管理局代谷副局長は語る

年末の忙しい時に世間に御迷惑をかけることは誠に申譯ない、郵便物の遲延、誤配は取扱上の缺陷であるが移讓直後のところへ持つて來て年賀郵便の特別扱ひやら年末のため各種郵便が激增するため非常に混雜を來し、監督者は居殘り徹夜で督勵してゐるのであるが言語の不通などでなかなく捗らないのであらうと思ふ、早速原因を調査して一般の不安を除くことに努めやう

堤畫伯の即席漫畫揮毫會

歲末同情週間に賛同した催しの一つとして滯京中の堤寒三畫伯による即席漫畫揮毫會が廿四、二十五の兩日寶山百貨店で催される、一枚二圓で揮毫、賣上金は同情基金にあてるもので時間は午前十一時から午後五時までゞある

体協日本側代表 佐藤滿鐵理事に委囑

在滿邦人競技者の國籍問題はその後內地に於て滿洲國側の協定案につき種々檢討の結果多少の修正を加へた鈴木武案に決定し廿二日の體育協會評議員會に附議可決したので同案を即日飛行便で送付し日本側代表に滿洲國(關東州)體育協會長滿鐵理事佐藤應次郎氏を委囑した旨滿洲國體育聯盟に通知があつたので年內には正式調印されるであらう

地籍整理局分會 協和會通じ義金

協和會地籍整理局分會では二十三日、正午代表者に託し、忘年會を廢した費用を殉職委員慰問金並びに遺兒養育資として五百圓、歲末同情資金として二百圓を協和會中央本部に差し出し係員を痛く感激せしめてゐる

匪襲下の滿炭社員に 日の丸の救援隊

朝陽縣下部落民に 協和の義人隊

滿炭本社着電に依れば、滿炭錦州省阜新縣礦業所調查隊員岸本常一氏は隊員と共に二十日午後二時朝陽縣第四區黃土梁子に於て匪賊約二十と遭遇し、苦戰の結果岸本氏は車輛の下敷きとなり頭部を粉碎滿人一名と共に即死し、調查隊は全滅の覺悟を決めてゐたところどこからともなく地方の部落民十名程が手にく日の丸の旗をもつて現れ同調查隊の引揚げ作業を援助五時漸く縣城に歸還するを得た、岸本氏の遺骸は二十一日隊員に護られ歸阜の豫定であるが、協和會中央本部では克く協和精神を理解し調查隊の危急を救つてくれた該部落民の行動を賞讃、目下その表彰を考慮中である

尙岸本氏は原籍愛媛縣越智郡櫻井町大字國分生れで本年二十四歲の前途有爲な青年社員であつた

共同便所に新案

賣店、電話附の耐寒二階建 之ならパスしさう

共同便所を持たぬ國都新京に於いてこれを設置し樣との朗報が齎された、由來滿洲都市に於ける共同便所は設備不完全から犯罪場所ともなりまた多季は烈しい寒氣のため共同便所としての用をなさず却て不潔を來たすもの乜內地式の便所は結局駄目だとあつて幾度かの設置案も立消えとなり滿鐵側に於ても新設のデパート、旅館等を公衆に開放せしめんとする方針であつた、然し國都の發展につれて公衆衛生上或は風紀上の見地に於ても是非必要を痛感されると共にこれが計畫に對し考慮されてゐたが偶々市內某篤志家によつて愈よ設置の計畫が具體化し廿三日中央通署衛生係に下交渉を開始されたが、これによると

便所は地下に、地上一階は賣店、二階は廣告塔としてこれに電話を架設し自由に公衆に利用せしめやうとするもので當局の憂慮してゐたところの犯罪豫防上に對して順次設置の豫定で中央通署衛生係では正式願出と共に監督官係と聯絡積極的に支援する意向を有しその出現は頗る注目されてゐる

しても冬季間の寒氣に對しても充分堪へ得る施設のモダン設計によるもので近く正式願出ある筈である

尙場所は差當り日本橋通金泰洋行横の三角地、西公園前、東一條稻荷神社附近三ケ所と

滿洲油化工業株式會社 改組要綱可決

滿洲國政府發表=第十七回經濟共同委員會は十二月二十三日新京日滿軍人會館に於いて開催せられ、滿洲國政府より諮問のあつた滿洲油化工業株式會社改組要綱を審議可決、既設滿洲油化工業股份有限公司(資本金二百五十萬圓、半額百二十五萬圓拂込濟)を改組し新たに資本金二千萬圓の特殊會社滿洲油化工業株式會社(假稱)を設立することゝ然る可き旨答申することゝなつた

蒙疆代表入京す

東亞の理想達成へ 民族協和を說く

記者團こ會見、交々熱辯

多年の念願こゝに達成され、二十三日午後六時三十分「あじあ」で晴れの日滿蒙親善使節として、松井張家口〇〇長、金井蒙疆委員會最高顧問外各代表一行十五名とともに張國務總理外各大官、元蒙政部大臣齊王、東條關東軍參謀長、神吉外務局長官、外關係者多數の出迎へを受けて着京した

蒙疆に未だ日本勢力の影薄く、北支軍閥跋扈赤色勢力華やかなりし頃その壓迫下にあつて屈せず終始一貫親日的態度を持し、潔く民族の血に生きた德王であつたが今次の支那事變に依り蒙古聯盟自治政府は樹立され選ばれてその副主席となり膚を刺す樣な寒風の中、各自治政府代表を從へてすつくとプラットホームに立つた蒙古の英雄德王その日の姿は、黑の蒙古服に黑の蒙古帽、長い辮髮を背にずらりとたらしてゐる慓悍な面貌、聖雄ヂンギスカンの血が脈々とその體內に流れてゐる樣だ、やがて出迎への人々と親善の力強き握手を交した德王一行は、稻川驛長の先導で驛貴賓室に少憩出迎への人々といちいち挨拶を交し和やかな雰圍氣の裡に交換を遂げ直ちに自動車にて一行滯京中の宿舍である國都ホテルに落着いた、應接間に記者團と共同會見の席上德王は一語々々がつちりとした口調で鐵壁の信念を左の如く簡單率直に述べた

東亞の平和は先づ日滿蒙支各民族がお互ひに手をとり合つて進み行くことに始まる、今度の蒙古聯盟自治政府が出來たのは全く日本帝國の援助のおかげだ、今後とも尙一層の援助をお願ひし度い、民衆の輿論指導の立場にある皆樣もどうぞ吾々の趣旨に贊同せられ御援助を賜らんことを切に希望します

德王を中心に車座になつて卓子を圍んだ夏恭氏、馬英見氏、于品卿氏、杜道于氏、卓盟長の各代表に同樣感想を求めれば先づ夏恭代表

支那の容共抗日政策は根本的に間違つてゐた、同文同種である日滿蒙支各民族は今こそ手を握るべきだ

次に馬英見代表

日本政府のおかげで吾々の自治政府は出來た、東洋平和の爲誠に喜ばしいことである、今後とも日本の指導と援助に依つて、これを完成させて行かねばならない

一行中一番年の若い杜道于代表は鮮やかな日本語で

全く同感だ!、別に何もいふことはない、皆さんのいふ通りだ

疲れてゐますからと金井最高顧問の注意に依り會見は終つた【寫眞は驛頭着の德王一行の親善使】

協和會首都本部長に 大橋參議推薦

協和會首都本部では田邊前首都本部長の後任として參議大橋忠一氏を推薦、更にこの機會に副部長制を新設しこれに總務廳次長谷次亨氏を推すことに內定近く正式任命の筈である

商業生實習生座談會

新京商業學校では十六日より廿一日にわたつて寶山百貨店で行つた五年生の商業實習の感想や批評を聞く爲に座談會を廿三日午後一時より同校において商工會議所調查主任田子金吾氏外數名の來賓、寶山百貨店當事者、實習參加生徒全員の列席の下に開いた、六日間の經驗を交々語る生徒の熱心な感想に當事者達の丁寧なる批評が有つて好成績をあげて午後四時散會した

東二條火事 二戶を全燒

慌しい年末に火災頻々たる折柄またく廿三日午後六時頃東二條通十番地濱木活版所濱木又次郎氏方より失火、火は見る間に室內に燃え擴がり紅蓮の炎は凍る星空に映え物凄い狀景を呈し急報に駈けつけた兩消防署員は全能力をあげて消火に努めたが火廻り早く隣家のカフエー・トリオ川原田クニさん方に延燒、更に朝鮮料理店朝鮮館に延びんとしたが消防署員必死の活躍よく効を奏して二戶を全燒して午後七時半鎭火した、同一帶は日鮮料理店、カフエー等櫛比する繁華街であり周圍は見物人の黑山を築き近來にない大火として大騷ぎを演じた、殊にカフエー・トリオは書入れ時Xマスを控へ飾り立てた室內は一物も餘さず全燒、十四五名の女給さん達は風呂敷包一個を抱へて寒風にふるへ乍らうらめし相に殘骸を見入る樣は一入哀れであつた、原因はペチカの不完全によるものと見られてゐるが目下損害と共に取調べ中である

西七馬路晝火事

廿三日午後一時頃西七馬路八番地煖房給水衛生請負花田商會こと花田九一氏方より發火天井一面火となつたが駈けつけた祝町、長春大街兩消防署の活躍に六戶建一棟を半燒午後二時鎭火した、損害約千圓原因は取調べ中である

正月用溫室洋花 西公園賣出

新京西公園事務所では例年正月床飾り用松竹梅の鉢植を賣り出し好評を博してゐたが、本年は都合により松竹梅を止め廿五日二十六日二日間每日午前十時から午後四時まで公園事務所で正月用溫室洋花シクラメン、ポインヤチヤ、ペユニヤ、アスパラガス、櫻草水仙、ヒヤシンス等約五百鉢を賣り出すことになつた

棉花協會解散

滿洲棉花協會解散式は廿四日午前十時奉天省公署において擧行される

ブレンソーダ

音樂協會の大塚淳氏新京に來た當時協和會といふのは何か音樂の團體かと思つてゐましたよ▼と兎角藝術家特有の沒常識振りを發揮してゐたが▼この頃ではチヤンと協和會服を着込んで市公署行政處長室の一隅に頑張つてゐるがあつぱれ民族運動の鬪士といつた格好である▼先日哈爾濱交響樂團からゲストコンダクターとして交渉を受けた際に幹部の態度が非紳士的だからとこれを一蹴し「男を擧げ」▼下手でも何でも良いんだ日本人と滿洲人だけで仲よくやつて行く新京交響樂團を育てて行くことは樂しいもんだよ▼と洩してゐたが鄕に入りては鄕に從ふではなく氏は既に協和精神の持主であつたのだ

けふの天氣

北の風曇

日の出	前八時一一分
日の入	後四時五一分
月の出	後一時五分
月の入	前一時四分
きのふの氣溫	最高零下一一度 最低零下二一度

公示催告

康德四年黃第二一六號
新京特別市入船町二丁目二十五番地の四
申立人 藤浦清人
左記證券の所持人は康德五年七月十日迄に當法院に權利を屆出て且證券を提出すへく若右期日迄に屆出を爲さゝるときは直に證券無效の宣言を爲す
記
一、證券の表示
一、種類 倉荷證券
一、證券番號 倉荷證券第八五四三號
一、受寄物の種類品質 玄米
一、受寄物の數量 百五十袋
一、保管の場所 新京驛專用線倉庫第一號
一、證券發行人 國際運輸株式會社新京支店
一、寄託者 新京入船町二丁目二十五番地の四 藤浦清人
一、證券作成年月日 昭和十二年十二月十六日
一、證券作成の場所 國際運輸株式會社新京支店
康德四年十二月十八日
新京區法院

新京特別市日本學校組合公示第一號

昭和十三年四月當組合所管各小學校に入學せしむべき兒童の保護者は左記に依り所定の入學願書を昭和十三年一月二十五日迄に當組合に提出せられ度
昭和十二年十二月二十二日
新京特別市日本學校組合長 關屋悌藏

一、入學せしむべき兒童 自昭和六年四月二日至昭和八年四月一日に出生したる者
一、入學願書受付期間 自昭和十三年一月六日至同年一月二十五日(午前九時半―十二時、午後一時―三時)
一、受付箇所 滿鐵新京支社四階學校組合事務所(三―四五〇九)
其の他
(1)入學願書には保護者氏名記入捺印の上戶籍謄本若は抄本を添付のこと但し右謄本は照會の上返戾す
(2)整理の都合上期日迄に必ず提出のこと
(3)入學願書用紙は當組合及學校に備付あるに付希望者は申出られ度
以上

新京特別市日本學校組合公示第二號

昭和十三年四月當組合所管新京幼稚園に入園せしむべき幼兒の保護者は左記に依り所定の入園願書を昭和十三年一月二十五日迄に當組合に提出せられ度
昭和十二年十二月二十二日
新京特別市日本學校組合長 關屋悌藏

一、入園せしむべき幼兒 自昭和七年四月二日至昭和八年四月一日に出生したる者
一、入園願書受付期間 自昭和十三年一月六日至同年一月二十五日(午前九時半―十二時午後一時―三時)
一、受付箇所 滿鐵新京支社四階 學校組合事務所(三―四五〇九)其の他
(1)入園願書には保護者氏名記入捺印の上戶籍謄本若は抄本を添付のこと但し右本は照會の上返戾す
(2)整理の都合上期日迄に必ず提出のこと
(3)入園願書用紙は當組合及幼稚園に備付あるに付希望者は申出られ度

義人長七郎

（續上演）中川雨之助　竹枝一郎畫

快人現はる（三）

まるで、魔法の使者かなんぞのやうに、ヒョツコリと現れた覆面なのです。しかし、それが何者とも、正體は分りません。

何しろ、眞暗な闇の中へ、黒裝束です、墨の中へ墨を流したやうなもので、ちつとも見分のつかぬ上に、子分の奴等は、皆長七郎の方に氣を取られてゐた折柄です。

その鼻の先へ、ニユツと、黒い物が動き出した。人間です。まさに人間には違ひないのだが、味方にしては少し恰好が違つてゐる。

「おや？」と思つて、その衿際を取らうとすると、スラリとかはされて、おまけに、蜘蛛のやうな拳骨が、あべこべに眼と眼の間の處へ飛んで來た。

「アッ」

その子分は兩手で顔を押へて、ひつくり返る。

いま一人が、ヒョイと振り廻つた刀の鋒先へ、ピカリ！と、白刃の光。

ギロツとして睨んだ目の前を、スーツと黒影のやうに掠り抜けて行く後ろ姿。

「己ッ！」

猿臂を伸ばして、襟髪を摑もうとすると、振り向きざまの當て身一閃。

「うわッ」

左りの胸を、手首のあたりから斬り落されたのです。

その間に覆面は、南京寅の背に迫つてゐました。

その氣配で、ふつと氣の付くまで、敵とも味方とも、正體の知れない怪物の現れたことを、南京寅はちつとも知らなかつたのです。

しかし、ギロツとせずには居られません。

[illegible]取つた匙を、右に[illegible]張つと、右手に長い奴が光つてゐるのです。

はツと轉えて、殆ど無意識に身を退つたが、その瞬間、彼はもう覆面のあたりの肉を削がれてしまつたのです。

「あツ、チ、畜生！　やりやがつたなツ」

斬所を押へた手の甲へ、指の股を傳うてぬる〳〵と血が流れる。

一人でさへ荷が勝ち過ぎてゐた處へ、又一人敵が現れたのです。

それでなくてさへ、腰の浮いてゐた南京寅、もうどうにもからにも荷に堪へられなくなりました。

「ソレ引揚げろ！」

己れが眞ッ先になつて、逃げ出したものです。

子分等が、眼鏡をしながら、それに續いたことは言ふまでもありません。

バタ〳〵、闇の彼方へ、次第に足音が遠ざかつて行きます。

長七郎も、足を踏み出してはみましたが、地を踏む度に、ズキンズキンと頭へ痛みが響くのです。

そして彼は、自分の危急を救つてくれた、覆面の人の姿を闇の中に探し求めたのです。

すると、二三間先を、それらしい物が、歩いて行きます。

「あツ待たれい！」

聲をかけたけれど、相手は踏み止まりもしないで、サッサと行つてしまふのです。

それを追かけようとして、走りかけてみたが急にまた激しい眩暈が來て、危く倒れさうになりました。

やつと正氣に戻つた時は、その影も形ももう見えませんでした。

「もしや英之助では無かつたか？」とも思つてみました。しかし今夜自分が、ここへ來る事を英之助が知る道理が無いのです。

[illegible]